

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2024年4月1日号 東京発行 NO.323

発行元：株式会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 TEL：03-5917-0045 FAX：03-5917-0047 E-mail:info@taiwannews.jp 台湾代表處 新北市林口區文化二路一段266號B1-8 TEL：02-2608-6177
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350円(税込) 定期購読 12回：3,500円(税込)/NT.1,000

日本-台湾間 日本最多の週150往復を運航!
台湾はチャイナエアラインで



2024年夏期スケジュールから名産品(台北線(CI155/154線)が毎日運航へ増便!)
更に、4月19日から成田-高雄線が週3便(CI127/126-水金日)で新たに運航開始!
5月からは広島-台北線が週5便(CI113/112-水木金日)で運航へ増便!
鹿児島-台北線が週2便(CI119/118-火水)で増便して、ますます充実したネットワークを提供いたします!
最新スケジュールをお知らせ航空券はチャイナ エアライン公式サイトから
www.china-airlines.com/jp/jp

頼清徳副総統

日総の帰国訪問団の表敬訪問受ける



表敬訪問の様子(写真提供：総統府)

錢妙玲総会長(中)と頼清徳副総統(右)(写真提供：中央社)

事にしました。台湾の現況や将来の政策方針を把握し、理解した上で在外公館と共に政府を支援したい」と述べた。

また「今日は特別な日。13年前の今日、東日本大地震が発生しました。当時頼氏は台南市長で、震災被災地の人々への支援を惜しみませんでした。今年の元日に発生した能登地方の震災では、蔡総統とともに即座に懸念を表され、多くの日本人が感謝の念を抱きました」と語った。

錢総会長は続けて、2021年3月以降、中国が検疫を理由に台湾のパイナップル輸入を一時停止した際に「日本政府は台湾を全面的に支援し、コロナ禍では台湾向けにワクチンの提供も同年に実施しました。台日両国の支援活動は数え切れないほどあり、台日関係は世界で最も友好的な関係の典型です」と述べた。さらに去年8月、中国が福島第一原子力発電所の処理水を海に放出することを理由に日本水産製品の輸入を全面的に禁止した事について「日総は今回、北海道産の干貝を特別に用意し、副総統に贈呈して

頼清徳副総統は3月11日、台湾総統府で日本から帰国した日本台湾商會聯合總會(錢妙玲総会長=日総)一行による表敬訪問を受けた。頼副総統は、総統の代理として一行と会談できる事を喜び日総のメンバーが長く台湾に対して有銭出銭、有力出力(資金がある者は資金を、力がある者は力を出すこと)の取り組みを執行している事に感謝の意を表した。また、数十年間にわたり日本で活動し、事業の成功後も故郷のことも忘れずに関心を寄せていることに「非常に感動している」との意を表した。また「台湾と日本の関係は非常に深く、さまざまな自然災害に遭遇するたびに助け合ってきた。いわば『患難見真情(まさかの時の友こそ真の友)』である。台湾と日本は経済・貿易方面でも緊密な関係にある。世界がスマート化を迎えるこの時代、台湾と日本がウィン・ウィンの関係を構築することで、世界経済の繁栄に貢献できると信じている」と述べた。

頼副総統はさらに、台湾と日本は民主国家であり、いずれも民主主義、自由、人権等の価値を共有していると強調。両国はいずれも「第一列島線」という重要な戦略的位置にある民主主義の共同体であり、今後双方が協力することで、台日関係をさらに深化させ、地域の平和と安定に貢献していきたいと期待を寄せた。

錢妙玲総会長は、日総の理事・監事一同を代表して副総統の頼氏が中華民国第16代総統に選出された事を祝福した。頼氏が医師であり、副総統として初めて総統に選出された事に敬意を表し「私たち海外の台湾企業家は、常に台湾を心配しています。海外にいるため、台湾の情報を把握する機会が少なく、この理由から、訪問団を結成して台湾の各組織を実際に訪問する

TOPIC

日本語版

- 台湾の国会議員団が日華懇と面会 2面
- ラン展に延べ35万人超 海外からの受注額過去20年で最高 3面
- 日本国際漫画賞で最優秀賞の備さん「台湾の漫画発展望む」 4面

中国語版

- 東京食品展登場台湾再創記録集結13縣市178家廠商 7面
- 僑委會春訪團東京公演 當代樂坊精彩演出獲滿堂彩 8面
- 日総第12回総会長改選 東郷清龍接棒帶動商會成長 9面
- 日総返國政團首見副總統賴清徳 獲勳局台日合作共創雙贏 10面
- 日總訪團拜會台北市政府 蔣萬安訪借道台商力量招商行銷台北 11面

WEBでもニュース記事が読めます
<https://taiwannews.jp/>



南国料理で宴会プラン楽しく歓迎迎会!!



予約電話: (03)5215-2537

お知らせ

読者の皆さまをはじめ、関係各位におかれましては日頃よりご愛顧いただきましてありがとうございます。感謝申し上げます。

本紙は令和6年4月より月刊紙から季刊紙に発行形態を変更します。活字媒体としての役割を継続させると共にネット配信にウエイトを高めます。主に報道の速報性に動画配信を強化させ、台湾華語と日本語により即時配信します。

このほか、日本と台湾の交流促進に向けた各種のイベントの実施や経済面、観光面、文化面、そしてエンタメなどの活動も強化します。同時にSDG sに向けた新たな取り組みも実施します。古きを残しながらも刻々と変化する現代の情報発信のあり方に向けて取り組む所存でございます。

今後も本紙をはじめ台湾新聞社をどうぞご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

蔡総統「強靱な供給網構築の準備できている」

TPP 早期加入にも期待



蔡英文総統は3月14日、台北市内で開かれた第51回東亞経済人会議の開会式に出席し、台湾は国力や経済の強靱性強化に努力してきたとして、日本などの国と肩を並べ、より安全で強靱なサプライチェーン(供給網)を構築する準備ができていると語った。世界の繁栄と発展に貢献するため、環太平洋経済連携協定(TPP)への早期加入についても期待を寄せた。

同会議は民間企業で構成される経済交流団体の中華民国東亞経済協会と東亞経済人会議日本委員会などが主催した。日本の対台湾窓口機関、日本台湾交流協会台北事務所の片山和之代表ら台日双方から約140人が参加した。

蔡氏は2015年の第43回会議の際、台日産業間の相互補完の強みを通じて、協力関係を深化させたいと交流促進への意欲を示していたことに言及。2023年は台日双方の貿易額が750億米ドル(約11兆円)を突破し、相互投資額も累計386億米ドル(約5兆7千億円)に達したと良好な関係を強調した。その上で台日は半導体サプライチェーンでの

立法院の江副院長

アジア・太平洋国会議員連合第52回総会に出席



台湾立法院の江啓臣副院長率いる与野党の立法委員一行は3月12日、衆議院議員会館の国際会議場で開催されたアジア・太平洋国会議員連合(APPU)第52回総会に出席した。議長国の日本をはじめ、パラオ共和国、タイ、キリバス、マーシャル諸島、ナウル、フィリピン、グアム、バプアニューギニア、マレーシアなど11か国の代表が参加した。総会の冒頭、第51回総会の総会議長による開会宣言が行われ、その後、日本の山口俊一衆議院議員が第52回総会の総会議長に推挙され、拍手で承認された。山口議長は、2025年のAPPU総会が台湾で、2026年はバプアニューギニアで開催されることを発表した。山口議長が各国の代表を歓迎したのち、

岸田文雄首相からビデオメッセージが上映された。その後、参加者全員による記念撮影が行われ、各国を代表して出席したメンバーらが自己紹介した。台湾は江副院長より訪問団のメンバー14人が紹介され、各国から提出された決議草案について議論が交わされた。

決議草案に関する議論では、江副院長、王定宇立法委員、洪申翰立法委員、柯志恩立法委員がそれぞれ、台湾が提出した決議草案第3案「台湾のUNFCCC(気候変動に関する国際連合枠組条約)参加を支持するようAPPU参加国に呼びかける」について説明を加え、各国の代表に対して支持を求めた。総会では9項目の決議草案について議論さ



江啓臣副院長(写真提供：立法院)

日本、台湾、パラオ共和国交流会(写真提供：立法院)

れ、北マリアナ諸島から提出された草案第1項が削除されたほか、残る8項目を各国の代表らが意見を交わし、議論を重ねた結果、出席者全員の拍手により承認の意思が表明されて可決された。台湾が提出したUNFCCC(気候変動に関する国際連合枠組条約)への参加支持を求めるを含む3項目の決議草案はいずれも可決された。

その後の第2セッションでは、まず各国の代表から「ナショナル・レポート」が発表された。発表は台湾から行われ、柯志恩立法委員が台湾を代表して報告した。その後、各国の代表も「ナショナル・レポート」を発表。なかでも日本、パラオ共和国、マーシャル諸島、グアムなどが台湾の近年の国際協力の取り組みに言及した事に謝意を示し「台湾と様々な分野で交流や協力を深めていきたい」と各国から期待が寄せられた。セッションは約2時間で終了した。

なお、総会の開会式は3月13日、東京で開催された。2025年は台湾で理事会及び総会が行われる予定で、台湾から与野党の立法委員らを率いて出席した江啓臣立法院副院長が総会の出席者に参加を呼び掛けた。

台湾訪問団の記念撮影(写真提供：立法院)

蔡英文 総統



蔡英文総統の挨拶(写真提供：総統府)

台湾の国会議員団 日華懇と面会



台湾の国会議員団が日華懇と面会(写真提供:中央社)

日本を訪問した台湾与野党の立法委員11人は3月13日、日本の超党派議員連盟「日華議員懇談会」(日華懇)のメンバーと東京都内で面会した。日華懇の古屋圭司会長は台湾で政権与党と議会第1党が異なる「ねじれ現象」が起きていると指摘し、与野党の議員が英知を結集させて台湾に



古屋圭司会長(左)と江啓臣副院長(右)は起こらないだけでなく、さらに高い期待ができると述べた。

また、江氏は挨拶の際、著名な書家の張焯焯さんが「一望千里」と揮毫(ぎこう)した作品の画像を見せ、台日関係が前を向き、さらに遠くを見ることを表していると説明した。作品は韓国瑜立法院長が張さんに制作を依頼したもの。古屋氏は韓氏に頼んで実物を受け取りたいと語った。

11人はアジア太平洋地域の国会議員でつくる国際組織「アジア太平洋国会議員連合」(APPU)の総会と理事会に参加するために訪日。訪日に合わせ、日華懇のほか、自民党や国民民主党、立憲民主党の各党代表なども面会した。

江立法副院長 「日米との安保協力を追求していく」



麻生太郎副総裁(右)と江啓臣副院長(左)(写真提供:立法院)

日本を訪問中の立法院の江啓臣副院長は3月11日、国民民主党の玉木雄一郎代表及び自民党の麻生太郎副総裁と面会した。江氏は、今年1月の立法委員改選後、初めて議員外交を行うのが日本であることについて「日本や米国など理念の近い国とより積極的に安全保障分野の協力を追求すれば、地域の安定がもたらされる」と述べた。

東京で開催中のアジア太平洋国会議員連合(APPU)の総会参加のため、江氏をはじめ超党派14人の立法委員がこのほど訪日。議員団は玉木氏と麻生氏の面会後、台湾・日本・パラオによる3者協議、APPU理事会に出席した。



玉木雄一郎代表(左)と江啓臣副院長(右)(写真提供:立法院)

江氏は、台湾海峡の安定は国際的な安全と繁栄に不可欠な要素だと強調。また新国会発足後初めての外交の場が日本であることについて、両国は経済貿易関係だけでなく、自由や人権、法の支配など核心的価値観が一致した安全保障上のパートナーだと話した。

今回のAPPUのテーマである気候変動と防災・減災について江氏は、今回の総会を通じて、台湾、日本、全ての参加国と大規模災害の減災・防災での協力が拡大することを期待していると話した。

第10回台日漁業委員会 今年も従来の操業ルール継続で合意

台湾の対日本窓口機関・台湾日本関係協会と日本の対台湾窓口機関・公益財団法人日本台湾交流協会は3月14日から16日まで、台北市内で第10回「台日漁業委員会」を開催した。同委員会は毎年台北と東京で交互に開催(持ち回り開催)されており、今年は台湾が主催。

台湾の代表団は台湾日本関係協会の范振国秘書長が団長を務め、農産部漁業署の張致盛署長がメインスピーカーを務めた。また、海洋委員会海巡署及び関係地区の漁会も代表が会議に出席した。

会議は「台日民間漁業取決め」の適用水域(八重山北方三角水域及び特別協力水域)における漁船の操業ルールについて協議したほか、台湾側は日本側に対し、双方の排他的経済水域の重なる水域での操業問題について早期に協議を始めるよう要求した。結果、双方は2024年の漁期においては2019年からの操業ルールを継続することで合意、同時に互恵の協力の精神に基づき、専門家会議を早期に開催して協議を継続することで一致した。



「台日民間漁業取決め」適用水域の図。(農産部漁業署サイトより)

台湾と日本は平和かつ理性的な方式で、長期にわたる漁業問題を解決している。また、「台日民間漁業取決め」に基づき、毎年1回「台日漁業委員会」を双方持ち回りで開いており、同委員会は双方にとって操業秩序の確立と漁業問題への対処を話し合う重要なプラットフォームになっている。

台中アリーナが起工式 隈研吾氏「世界から注目される」2030年完成予定



台中アリーナの起工式(写真提供:中央社)

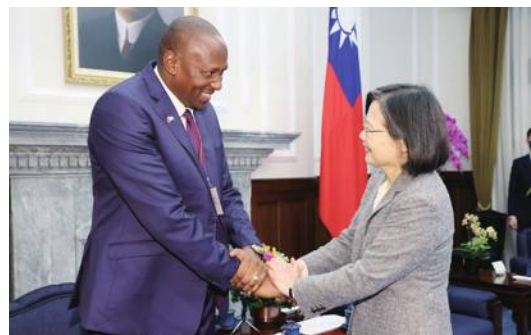
台湾台中市(盧秀燕市長)で3月11日、台中アリーナ(台中巨蛋)の起工式が行われ、設計を担当した建築家の隈研吾氏らが出席した。隈氏は「環境や自然の時代に合わせたデザインを採用した。完成したら間違いなく世界中から注目されるだろう」と期待を寄せた。2030年の完成を予定している

同市は人口約285万人で台湾中部最大の都市だが、現在、大型で専門性のある屋内公演会場がない。式典で挨拶した盧市長は「現在建設が進んでいる図書館と美術館からなる総合施設や国際会議・展示場と併せて、台中に欠けていた大規模な施設が全てそろい、今後100年間の発展に対応できるように」と述べた。また「建設地の近くにある台中インターコンチネンタル野球場と併せての運用も可能」と説明。台中の文化や経済、観光の発展をさらに拡大、促進できると強調した。

隈氏は同施設について、世界のアリーナの中で最もユニークで、最も自然を感じられる建物になるだろうと語り、式典で隈氏から盧氏に手稿の設計図が贈られ、両氏と関係者らが「欽入れ」(くわいれ)を行った。



盧秀燕市長と隈研吾氏(写真提供:中央社)



蔡英文總統とラッセル・ミソ・ドラミニ首相(写真提供:中央社)

昭和天皇にゆかり 台湾の桜を静岡と山梨で植樹



植樹式の記念撮影(写真提供:中央社)

昭和天皇が皇太子時代の1923(大正12)年に行った台湾行啓(ぎょうけい)の際に植樹した桜から株分けされた苗木が3月4日、静岡県森町の小国神社と山梨県富士吉田市の北口本宮富士浅間神社に植え



台湾の桜が小国神社と富士浅間神社に植えられた(写真提供:中央社)

本で植樹する「里帰り」の取り組みが行われている。小国神社の打田文博宮司は、森町が明治時代に台湾製糖を設立した鈴木藤三郎や台湾の茶業発展に尽力した台湾製茶試験場の初代場長、藤江勝太郎の故郷であることに触れ、台湾とのゆかりが深いと語った。

謝氏は式典の挨拶で、台湾の桜が歴史ある場所に植えられたことに感謝を表した。フェイスブックでも「過去の歴史の関係を重視すべきだ」とし、桜を通じた交流の拡大を望むと語った。

昭和天皇ゆかりの桜は今年茨城県水戸市や熊本県などで植樹される予定。

エスワティニ首相と会談 台湾の国際参加支持に感謝



会談の様子(写真提供:中央社)

蔡英文總統は3月19日、中華民国(台湾)と外交関係を有するアフリカ南部エスワティニ(旧スワジランド)のラッセル・ミソ・ドラミニ首相と台湾總統府で会談し、同国が台湾の国際参加を長期にわたって支持していることに感謝を示した。

ドラミニ氏の訪台は昨年11月の首相就任以来初めて。エスワティニからは、今年1月31日にボリレ・シャカントウ外相が訪台している。蔡氏はシャカントウ氏に続いてドラミニ氏が訪台したことと触れ、両国の友情はさらに深まるだろうと期待を寄せた。また自身が昨年9月にエスワティニを訪問した際、女性の起業支援基金の覚書や同国での石油タンク建設への投資などに関する協力文書の調印に立ち会ったことに触れ、エスワティニの発展に向けた手助けをしていると述べた。その上で台湾とエスワティニは今後、既存の基礎の上でさらなる協力や交

流の機会を探り、国同士の関係をより強固にするとし、世界の発展のために共に努力するとした。

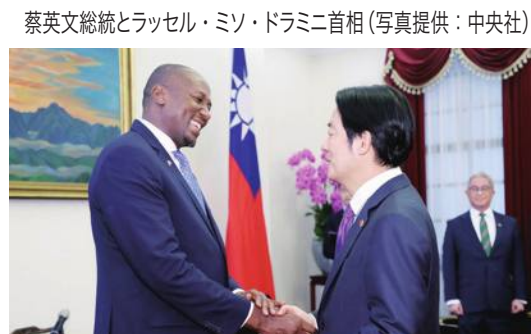
ドラミニ氏は、両国は今後も手を取り、より美しく繁栄した未来を目指していくと言及。台湾の先見の明や台湾がエスワティニの発展のために提供した技術協力などに感謝した。

エスワティニは1968年、英保護領からの独立とともに中華民国と国交を樹立した。

エスワティニ首相次期候補の頼清徳氏と会談

「台湾への支持は揺るがない」
エスワティニ(旧スワジランド)のラッセル・ミソ・ドラミニ首相は3月20日、次期総統の頼清徳副総統と台湾總統府で会談した。頼氏の就任後も同国の台湾に対する支持は揺るがないと述べ、今回の訪台の目的は台湾との外交関係に対する約束を改めて伝えることにあると語った。

ドラミニ氏は、頼氏が1月の大統領選で激



頼清徳副総統とラッセル・ミソ・ドラミニ首相(写真提供:中央社)

しい戦いの中で勝利したのは「頼氏の政権運営能力に対する台湾の人々の信頼を反映している」と称賛。頼氏が総統に就任する5月20日を元首のムスワティ3世が楽しみにしていると紹介し、一意性を有する両国の外交上の約束は後世のために残されるべきだとした。その上で、台湾とエスワティニの外交関係は相互理解や安定、繁栄に根ざしていると、関係の今後を楽観視する姿勢を示した。



ラン展に延べ35万人超 海外からの受注額過去20年で最高



記者会見の記念撮影(写真提供:台南市)
台湾台南市(黄偉哲市長)政府は3月19日、3月10日に閉幕した第20回台湾国際ラン展と第23回世界蘭会議・国際蘭展について、参観者数は延べ35万人を超え、今後3~5年間に及ぶ海外からの受注額は115億台湾元(約545億円)となり、過去20年間で最高となったと明らかにした。



台湾国際ラン展(写真提供:台南市)
どちらのラン展も2月24日から16日間開催。黄市長は「62カ国からの出展があった」とし、「世界に向けて台湾が誇るランのバイオテクノロジーやソフトパワーを示すことができた」と語った。また来年には「アジア太平洋蘭会議・国際蘭展」が台湾国際ラン展と同時に開催されることに触れ、期待を寄せた。
台南市政府によると、今年の参観者は昨年より2万7千人増え、会場での売り上げは2500万円(約1億900万円)に達したという。また期間中には台南市の宿泊施設の稼働率は平均で80%以上、休日は90%になったとした。

タロイモ産地吉安郷で苗植え機導入 人手不足解消図る



記念撮影(写真提供:花蓮区農改場)
台湾のタロイモの産地として知られる台湾花蓮県吉安郷の農会は現在、人手不足に苦慮している。解決の糸口を見いだそうと同会が3月13日、台湾農業部花蓮区農業改良場に問題解決を求める要望を提出した。これを受けて同改良場は、同じくタロイモの名産地である台湾台中市大甲区にある「台中区農改場」を招いて機械操作の研修会を開いた。人力の代わりとなる苗植え機を導入する事で、地方特産品の発展を支援するもの。
吉安郷一帯は中央山脈の奇麗山から流れる清らかな水が流れ、豊かな土壌を持つ栽培に適した土地。農家の熟練した栽培管理技術によって、高品質のタロイモを生産している。
タロイモは単作の農作物で、毎年11月に苗を植え翌年6月に収穫する。農家の黄さんは「タロイモの植え付け技術は敷居が高い」と話す。約0.1ヘクタール当たりの生産量は高い技術を持つ農家の場合、1500~1800キログラムに達するが、適切な世話ができず「600~900キログラムしか収穫できない」という。また、天候の影響で生産量が明らかに減少するため「農家は大変」と吐露する。
今回の台中区農改場が研究開発したタロイモ苗植え機は、トラクターに取り付けて使用する。溝掘り、苗植え、土を被せるところまで一貫して作業できる。溝を掘る深さ、苗を植える間隔も調節でき、従来の方法に近い植え付けが可能。作業効率は人力と比較して、約23%向上するという。
花蓮区農改場は、労働力が減少し、農業に従事する人が減っている中で「生産技術の転換は必須」とし、農改場が強力な技術支援を提供し、農会が各地の農家の機械化を図り、新たな栽培方法を導入すれば、農作業の負担を軽減するだけでなく、タロイモ栽培の新たな生産モデルができると示した。これによりタロイモ栽培の管理プロセスを向上させ、吉安郷の特産品に新たな活力を注ぎ込み、特産品を持続的に発展させていくとしている。

「FOODEX JAPAN」の台湾パビリオン ピビアン・スーさんがPR



台湾經濟部国際貿易署と中華民国対外貿易発展協会(TAITRA=台湾貿易センター)は3月5日、アジア最大級の食品・飲料見本市「FOODEX JAPAN2024 第49回国際食品・飲料展」(3/5~3/8 東京ビッグサイト)に共同で計画した台湾パビリオンをオープンさせた。前日4日の記者会見でタレントのピビアン・スーさんが応援のため登場すると、台日のメディアが多数駆けつけた。
記者会見は4日、東京都内のホテルで行われ、中華民国対外貿易発展協会の黄志芳理事長と国際貿易署の李冠志副署長が出席した。タレントのピビアン・スーさんがゲストとして台湾パビリオンをPRしたため、イベント開催期間中には多くの日本人バイヤーが台湾パビリオンを訪れ、さらに多数の来場者が台湾の食品を味わっていた。
中華民国対外貿易発展協会の黄理事長は、台湾の業者は「FOODEX JAPAN」をとても重視しており、今回の台湾パビリオンには13の県・市が参加するなど、業者たちの日本市場に対する強い期待が表れていると指摘。台湾パビリオンでは178社が189のブースを使ってそれぞれの商品を展示、面積は2,000平方メートル近くで外国のパビリオンとしては2番目に大きいと強調した。
国際貿易署の李副署長は「日本は台湾のよき友であり、台湾がアジアで経済を発展させるため重要なパートナーだ」とした上で、今回豊富な食品を集めて展示することは台日間における最高の「食品外交」に等しいと期待した。
台北駐日経済文化代表処の周宇佑副代表、台湾農業部の范美玲主任秘書(農業部ナンバー5)もスピーチ。さらに台湾屏東県の周春來県長、台湾嘉義県の翁章梁県長、嘉義市の黄敏忠市長がうなぎのかば焼き、ドライフルーツ、からすみ、蜂蜜の



ピビアン・スーさんと黄志芳理事長
ギフトなどそれぞれの県・市の食品を紹介した。
台湾パビリオンのPRのため、対外貿易発展協会は様々な関連イベントを計画。開催期間中、毎日数量限定で台湾スタイルのアフタヌーンティー(水出しウーロン茶、イカ団子の揚げ物、豆花=トウファ、ビールなど)を提供するほか、日本で歓迎されている台湾の野菜・フルーツをモチーフにしたマスコット(マンゴー、バナナ、枝豆、ドラゴンフルーツ)が定期的に会場内を周回して来場者と交流し、台湾フルーツの知名度向上を図った。
台湾農業部の統計によると、2023年における台湾の主力農産物の輸出額は48.93億米ドル。そのうち日本向け輸出は7.1億米ドルで、主なものは冷凍水産品、枝豆、バナナ、花き。日本は台湾の農産物にとって2番目に大きい輸出相手国で、4番目に大きい輸入相手国であるなど、双方には農産物で盛んな貿易の往来がある。「FOODEX JAPAN」は台湾の業者が日本市場、アジア市場、世界の食品市場を開拓していくための重要なプラットフォームとされており、今年台湾の食品業者が代表団を組織して海外の見本市に参加する中でも最大規模の食品見本市だという。

飯島彰己氏に「経済專業獎章」授与 台湾經濟部



記念撮影(写真提供:經濟部)
台湾經濟部(王美花部長)は3月14日、日本経済団体連合会(経団連)東亜経済人会議日本委員会の委員長を務める飯島彰己氏(三井物産社長)に「経済專業獎章」を授与した。台日の経済・貿易促進の功績を称えた。
「経済專業獎章」は、経済分野で特殊な功績が認められた台湾人及び外国人に授与するもので、経済団体を指導し、台湾政府による経済・貿易政策の策定・推進や、国際貿易での台湾の地位向上に協力するなど、卓越した功績があったことを称えるもの。飯島氏は、TSMC進出を契機とした新生シリコンアイランド九州の形成を提言するなど、台湾と日本の半導体のサプライチェーン関係の深化に貢献した。
王美花部長は、台湾積体電路製造(TSMC)の熊本工場は台湾と日本の半導体サプライチェーン連携のために大量のニーズと動力を創出したと指摘し、九州に半導体産業のクラスターを形成するために有識者会議の座長を務めてきた飯島氏に感謝した。また、飯島氏が物流全般、専門人材の育成、外国人エンジニアを取り巻く生活環境などについて政府に提言を行い、日本の半導体産業の製造やR&D能力を向上させてきたばかりか、半導体産業のサプライチェーンレジリエンスでの台日連携のために功績があったことを称えた。
これに対して飯島氏は、東亜経済人会議は台日双方の努力により、台湾と日本の揺るぎない友好と関係作りのために寄与してきたと説明し、同時に自身の責任の重大さを身に染みて感じると述べた。また、台湾と日本はますますグローバルな経済・貿易環境の変化、サプライチェーンの再構築、産業のスマート化、高付加価値化等の問題に直面しており、今後も半導体産業で持つ強みで相互補完の関係構築を築きながら、デジタル・トランスフォーメーションやグリーン・トランスフォーメーションを推進し、双方の人的往来、観光、文化交流などを増やして、台日関係の次の50年を作っていくと述べた。(東亜経済人会議は今年で第51回を迎えた)
台湾經濟部によると、飯島氏は2020年6月に経団連東亜経済人会議日本委員会の委員長に就任。当時はコロナ禍で各国が国境を封鎖し、人的往来やビジネス往来が途絶えていたが、東亜経済人会議は台日双方の努力によって経済界の交流を推進してきた。

JASM 開所式を経て 熊本産業復興エキスポを開催



熊本復興エキスポを開催
水害や地震に苦しめられる一方で、日本の半導体産業復興という大きな役割を背負う熊本県が主催する「くまもと産業復興エキスポ」が2月28日と29日の2日間、同県益城町のグランメッセ熊本で開催された。県内外や台湾の企業など約270社・団体が出展した。(台湾からは約30社・団体)
TSMC(台湾積体電路製造)の日本製造子会社であるJASM(Japan Advanced Semiconductor Manufacturing)熊本第一工場の開所式が2月24日に行われたこともあって、開催初日の早朝から大勢の来場者が詰めかけた。
オープニングセレモニーで蒲島都夫知事は



高雄市の羅副市長のスピーチ
「エキスポを通して着実に進む災害からの創造的復興と、熊本の輝かしい未来を体感してもらいたい」と述べ、熊本工業高校のプラスバンドが花を添える中、熊本県工業連合会の田中稔彦会長や台湾・高雄市の羅達生副市長らとともにテープカットした。
2日間で10,000人を超えた来場者の多くは、半導体製造関連企業や、従業員の生活を支える自治体の担当者並びに住宅や金融関連会社の営業マンが大半を占めた。一方で高校生の姿も数多かった。
事務局は「活気づく地元・熊本での就職を促すとともに工業系の生徒には具体的に半導体を勉強してもらおうと約2,200人の高校生を招待した」と説明した。



関係者のテープカットと熊本工業高校のプラスバンドをバックアップする高雄市の羅副市長が半導体と美食を融合した同市の発展について語った。
2日間で10,000人を超えた来場者の多くは、半導体製造関連企業や、従業員の生活を支える自治体の担当者並びに住宅や金融関連会社の営業マンが大半を占めた。一方で高校生の姿も数多かった。
事務局は「活気づく地元・熊本での就職を促すとともに工業系の生徒には具体的に半導体を勉強してもらおうと約2,200人の高校生を招待した」と説明した。

会場の多くのブースの入口や社名版の横には「学生歓迎」のプレートが掲げられ、さながら就職説明会のような雰囲気も感じられるほどだった。
ブースで具体的な仕事の内容を聞き、技術的なセミナーに参加した中には「半導体についてはこれまであまり知識がなかったが、今回大いに興味を持つことが出来た。進路の選択肢としても考えたい」と話す生徒もおり、主催者の狙い通りとなった。

台湾は蔡英文総統の指導の下、2021年4月22日の「アースデイ(地球の日)」に、2050年までにネットゼロの達成を目指すことは全世界の目標であり、同時に台湾の目標でもあると宣言した。昨年2月には「気候変動因応法(気候変動対応法)」が施行され、2050年ネットゼロ達成を法律に明記した世界でも数少ない国となった。台湾は同時にエネルギー供給の強靱化にも積極的に取り組み、2023年の「第28回気候変動枠組条約締結国会議(COP28)」で制定された「2030年までに再生可能エネルギーの発電容量を世界全体で3倍にする」という国際目標と足並みをそろえるべく努力している。
陳院長は台湾の取り組みや、再生可能エネルギーの普及を踏まえた上で、台湾がこれから第二次エネルギー転換を積極的に推進し、さらなる省エネの実践を奨励すること、同時に産業のデジタル・トランスフォーメーションやグリーン・トランスフォーメーションを推進し、ネットゼロとサステナブルなグリーンライフを形成することを強調した。また、ネットゼロを目指すに当たっては、政府が今後も強力且つ有力な盾となり、「公正な移行(Just transition)」を実現する道筋において誰一人取り残さないことを約束した。

陳行政院長「2050 ネットゼロ」 目標実現のため政府は最強の後ろ盾に



行政院陳建仁院長(写真提供:行政院)



見本市「智慧城市論壇暨展覧(SCSE)(写真提供:行政院)

スマートシティをテーマにした見本市「智慧城市論壇暨展覧(SCSE)」の台北会場(南港第2展示ホール)が3月19日から22日まで、高雄会場(高雄展示ホール)が3月21日から23日まで開催された。台北会場では国家發展委員会、台北市電腦公会、台湾智慧城市産業聯盟が主催する「2050 淨零城市展(ネットゼロ・シティエキスポ)」も同時開催され、その一環として行われた「2024 淨零城市國際峰會(ネットゼロシティ国際サミット)」の開会式に行政院の陳建仁院長、国家發展委員会の龔明鑫主任委員、行政院の林子倫報道官らが出席した。
陳院長は、今年のSCSEには46カ国、122都市が参加し、スマートシティやネットゼロの取り組

みの成果を展示しているとして、多くの都市が気候アクションに取り組み、2050年までに「ネットゼロ」を実現するという目標に向かって努力していることに感謝した。また、2023年の世界平均気温が記録のある1850年以降で過去最高になり、過去100年(1901~2000年)の平均気温を1.18度上回ったこと言及。現在の地球の気温上昇幅は、パリ協定で示された「1.5度目標(世界の平均気温の上昇を1.5度に抑える努力をするという目標)」に限りなく近づいており「つまり全世界が急速かつ積極的に脱炭素や気候変動適応策を打ち出さなければ地球のサステナブルな未来を守ることができない」と訴えた。

日本国際漫画賞で最優秀賞の簡さん 観光交流協定を締結



記念撮影

外務省が主催する第17回日本国際漫画賞の授賞式が3月5日、東京都内で行われ、最優秀賞を受賞した台湾人漫画家、簡嘉誠さんが出席して上川陽子外相から賞状を受け取った。簡さんは、台湾の漫画がより発展していくことを望んでいると語った。

同賞には世界82カ国・地域から587作品が寄せられた。台湾の漫画家による作品が最優秀賞となるのは2020年の章離若明さんの「送葬協奏曲 (Funeral director)」に続き2回目。簡さん

の作品「青空のもと、風追う少年」は、第2次世界大戦末期に走ることをきっかけに出会い、日本の陸上競技史に名を残すことを夢見た台湾人と日本人の少年2人の物語を描く。審査委員長を務めた漫画家の里中満智子さんによると、最優秀賞は審査委員の満場一致で決定した。

簡さんは「今回の制作のために多くの歴史を学んだ。ある時代では台湾人と日本人の両方が台湾を「家と見なしていた」と言及。言語や文化の違いを抜きにすると、人の感情はふるさと



左から簡嘉誠さん、外務大臣上川陽子、台湾文化センター長王淑芳、駐日代表処顧問張瑞麟を思う気持ちや家族の情を求める心情など、多くの方面で共通しているとの考えを述べた。その上で、身分や立場が異なっても感情の面では必ず相互理解ができると語った。

作品は、保存する公文書の活用を担う国家発展委員会檔案管理局が簡さんに協力を依頼し、同局が管理する台湾鉄路の史料を基にして創作された。

本作が自身にとって3作目の鉄道を題材にした漫画だという簡さん。報道陣の取材に対し、鉄道の漫画を描くのはとても難しく大変なので、初めは同局からの依頼を辞退しようか迷ったと吐露した上で、今はとても喜ばしく感じているとコメントした。

授賞式には超党派議員連盟「日華議員懇談会」会長の古屋圭司衆院議員や漫画家の赤松健参院議員、台北駐日経済文化代表処台湾文化センターの王淑芳センター長らも出席した。

相互理解や友好親善に貢献 1団体と3人を表彰



谷崎泰明理事長(中)と受賞者(写真提供:中央社)

日本の対台湾窓口機関、日本台湾交流協会は3月21日、日台関係の相互理解や友好親善に貢献したとして、台湾の政治に詳しい東京外国語大学の小笠原欣幸名誉教授や中央社の楊明珠東京特派員ら1団体と3人を表彰した。

日本台湾交流協会表彰は2018年から行われており、今回で5回目。今年度は小笠原氏や楊特派員のほか、台湾原住民(先住民)関連の研究者でつくる日本順益台湾原住民研究会、台湾に関する多くの著書を持つ作家の平野久美子氏が表彰を受けた。表彰式は東京・六本木の同協会東京本部で開かれ、谷崎泰明理事長が表彰状を手渡した。

谷崎氏は、日本順益台湾原住民研究会には文化人類学や言語学、歴史学、考古学など多様な分野の研究者が参加していると説明。先住民研究が進むだけでなく、台日全体の学術交流促進に寄与していると讃えた。

小笠原氏については「選挙予想の神様」と紹介。予想の正確さのほか、分析方法は学術的に後進へ影響を与えているとし、今後のさらなる活躍に期待を寄せた。平野氏は著書を通じて台湾の魅力や台日交流に「甚大な影響を及ぼしている」とした。



記念撮影(写真提供:中央社)

楊特派員については、同氏を通じて多くの日本の政治、経済、文化、社会などさまざまな情報が台湾に紹介されているとし、日本と台湾の距離を近づけることに努力したとして感謝を示した。

小笠原氏は「台湾情勢は厳しくなっている」としながらも「台湾アイデンティティーが広がった台湾はしっかりとこの先も今の体制を維持できると思う」との見方を示し、分析をした上で日本や世界各国に発信していきたいと今後の研究に意欲を見せた。

楊特派員は「表彰されることは私一人の力だけではなく、みんなの力」として感謝を表明。自身の名前と掛けて、日本と台湾は輝きを放つ「明珠」だとし「これからもその輝きを失わせないように(情報を)発信する」と語った。

長野の高校生 高雄の高校を訪問で交流



記念撮影(写真提供:高雄市)

長野県の高中生や教員24人が3月4日から5日にかけて台湾高雄市の市立高校3校を訪れ、現地の生徒や教員と文化交流を図った。台日双方の生徒と一緒に授業を受け、台湾のお菓子作り体験などを通して互いの文化への理解を深めた。

同市政府教育局によると、交流は前鎮高、福誠高、小港高で行われ、3校の生徒17人がホストファミリーとして長野県の生徒を受け入れた。同局は、長野県の生徒が台湾の生活を体験し、台湾南部の情熱やおもてなしの心を感じて



作り体験(写真提供:高雄市)もらったとしている。

前鎮高(蘇清山校長)では、長野県の生徒が数学の授業に参加。授業には折り紙が取り入れられ、双方の生徒は楽しい雰囲気の中で関連の知識を学ぶとともに想像力を育んだ。蘇清山校長は「互いの文化を教え合い、世界の友人をつくることのできた」と成果を述べた。また、今回の取り組みは両国の生徒間の友情や交流を促進し、台湾と日本の学校の文化交流協力で固い基礎を築いたとの見方を示した。

高雄市政府教育局と長野県教育委員会は教育交流協力に関する覚書を結んでおり、これまでも双方で生徒の交流が行われている。

桃園メトロ空港線の利用増加 車両10編成を追加購入へ



桃園メトロ空港線(写真提供:桃園メトロ)

台湾行政院の鄭文燦副院長は3月12日、桃園メトロ(MRT)空港線の利用者の増加に伴い、車両をさらに10編成増備する必要があるとし、購入にかかる費用の半額に当たる約30億台湾元(約140億円)を中央政府が補助すると発表した。

鄭氏はこの日、台湾桃園市の張善政市長や台湾交通部の王国材交通部長らと同市にある空港線の長庚医院駅で、昨年、台湾行政院の主導で導入された「共通定期券」の利用状況を視察した。空港線の1日の平均利用者数は2019年の延べ約8万人に対し、現在は延べ約10万人に達している。

「定期券は良い政策だった」と述べた。増備されるのは停車駅が少ない直達専用車両が6編成、各駅停車の普通専用車両



鄭文燦副院長は、張善政市長や王国材部長らと駅を視察した(写真提供:桃園メトロ)が4編成となる見通し。鄭氏は車両購入に関して桃園市政府や桃園メトロと早期に話し合い、輸送量を増強したいと語った。

空港線は17年3月に開業。台北駅(台北市)から桃園国際空港を経由し、老街溪駅(桃園市中壢区)までの約51キロを結ぶ。

青森の「媽祖」が国境越えて里帰り 北港朝天宮で盛大に歓迎



青森の媽祖(写真提供:北港朝天宮)乗せて朝天宮に向かう風習「北港進香」は今年2月、国の重要民俗に指定されることが決まった。朝天宮の蔡咏錫董事長は報道陣の取材に対し「媽祖信仰の熱が日増しに増しており、台湾だけでなく世界各国に広がっている」と言及。「大間の媽祖像が2800キロの長旅を経て北港に戻ってきたのは北港進香による媽祖信仰が遠くまで広がっていることを示している」と説明した。

大間町観光協会によると、媽祖は同町では「天妃様」と呼ばれて、江戸時代に住民が海上での危機を媽祖に救われたのをきっかけに信仰が始まった説が有力とされている。稲荷神社と朝天宮が姉妹宮となった97年以降は、毎年海の日に朝天宮の協力の下で神事「天妃様行列」が行われているという。同協会は今回の里帰りについて「媽祖様が結んでくれた台湾と大間の本格的な交流の幕開け」としている。

青森県大間町の大間稲荷神社に祭られている航海の女神、媽祖の像が3月16日、分霊元である台湾中部に位置する雲林県の北港朝天宮に初めての里帰りを果たした。朝天宮の関係者が爆竹や音楽などで盛大に迎えた。

青森の媽祖が「国境越えて里帰り(写真提供:北港朝天宮)者らによって3月14日に大間町を出発し、フェリーや飛行機、バスで北港まで運ばれた。朝天宮によると、媽祖像は1996年に分霊されたもの。今回の里帰りのために綿密な調整を重ねたという。信者が各地に分霊された媽祖をみこしなどに

米N.Y.のMoCCAアートフェスティバル 台湾から漫画家2人が参加



台湾人漫画家のEli Lin(左)とPam Pam Liu(右)(写真提供:中央社)



若い世代の参観者を多く引き付けた(写真提供:中央社)米ニューヨーク州の漫画専門ミュージアム「コミック&カートゥーン・アート・ミュージアム(The Museum of Comic and Cartoon Art, 略称MoCCA)」が主催する「MoCCAアートフェスティバル」が3月16日と17日に開催され、台湾人漫画家のEli Lin(依萊)さんとPam Pam Liuさんが招きを受けて初出展した。Eli Linさんは、カラフルで大胆な色使いと、滑らかで繊細なラインを融合させた作品を得意

とし、若い世代の参観者を多く引き付けた。Eli Linさんは自身のブースに、マンガ、ポストカード、シール、トートバッグ、光るストラップ、Tシャツなどの作品を展示。いずれも、台湾の街の風景、タピオカミルクティ、媽祖など台湾の要素をイラストに組み込んだもので、大勢の参観者が足を止めて作品に見入っていた。Eli Linさんによると、Eli Linさんが台湾で出版した漫画『羅賽塔』を読んだことがあるという読者も来ており、「作風を見て一目で『羅賽塔』の作者だと分かった」と言われて驚いたという。

Pam Pam Liuさんは3月17日、「MoCCAアートフェスティバル」が主催する「Narrative of Care(介護の話)」をテーマにした座談会にも出席。乳がんの母親を介護した経験をもとにした作品『癌症好朋友』を持つPam Pam Liuさんは、認知症の父親を介護した経験を持つベルギーの漫画家Ephameronさ

ん、母として子育てをしながら漫画を描くアメリカのLauren Weinsteinさんとともに、女性の視点から、自身の創作の背景や作風について語った。Pam Pam Liuさんは、漫画を描くことで不安をやりやわらげ、家族が病気になったというストレスを絵や文章に変えていったと語り、似たような経験を持つ読者がそれに共感を覚えたり、こうした作品について語り合うことで、勇気をもって悩みを口にできるきっかけになればと話した。

台北駐ニューヨーク文化センター(台湾文化部の出先機関)は2017年より「MoCCAアートフェスティバル」に参加し、毎年台湾から個人的なクリエイターを招いている。今回参加した2人の漫画家は、初めてブースで「似顔絵」のサービスを提供し、台湾のクリエイターの実力を示した。「似顔絵」のブースは大勢の参観者が列を作っていた。

昨年覇者の味全 新たなホリデーユニホームお披露目



台湾プロ野球で昨年の年間王者に輝いた「味全ドラゴンズ」は3月8日、台北ドームで記者会見を行い、新たなメインビジュアルやホリデーユニホームなどをお披露目した。ユニホームは赤をベースに熱血の闘志を表現したという。メインビジュアルのデザインコンセプト

新たなホリデーユニホーム(写真提供:中央社)は、これまでと同様に「団結」を踏襲。チームが初心に戻り、心をついにたゆまず奮闘し、新たな章を開くことへの願いが込められた。この日はチャンピオンリングも初めて公開された。1990年代に監督を務めた徐生明氏を記念し、背番号と同じ85個のラ



リンシャン(林襄)(写真提供:中央社)インストーンが配されている。またチアリーダーの「ドラゴンピューティーズ」はキャプテンが交代。楽天モンキーズの元チアアガールで、大人気を誇るリンシャン(林襄)が新たに加え、新体制でチームを盛り上げる。

台湾プロ野球「統一」 新チアリーダーに日本人2人



統一ライオンズの新チアリーダー(写真提供:中央社)

台湾プロ野球の統一ライオンズは3月10日、公式チアリーダー「Uni Girls(ユニガールズ)」に、日本人のChihiro(千紘)さんとNozomi(希美)さんの2人が新たに加えると発表した。2人は球場で応援できる日を心待ちにしているという。

台北市内で新シーズン発表会を開き、ChihiroさんとNozomiさんを含む4人のユニガールズ新加入メンバーがお披露目された。2人は、昨季まで日本プロ野球西武ライオンズの公式パフォーマンスチームに所属していた。

ユニガールズについてNozomiさんは「みんなすごく優しく、かわいくて、とても最高なメンバー」、Chihiroさんは「家族みたいな安心感があってこれからがとて楽しみ」と語った。

また、台湾プロ野球の印象について、Chihiroさんは「ファンとの距離が近く、一体感が生まれてすごく素敵」と笑顔。Nozomiさんは「すごく熱狂的な応援が印象的。ステージに立って応援できる日がすごく楽しみ」とわくわくした様子だった。

台湾プロ野球「中信」 新チアリーダーに韓国人2人



中信の新チアリーダー(写真提供:中央社)

台湾プロ野球「中信ブラザーズ」は3月19日、チアリーダー「パッションシスターズ」の新メンバーに韓国人のイ・ダンビ(李丹妃)とジョン・ハウル(辺荷律)の2人が加わると発表した。

イ・ダンビは中国語で「台湾愛してる」と話し、ジョン・ハウルは「今後もさらに努力していく」と意気込みを話した。

台北市内で開いた発表会では、イ・ダンビ、ジョン・ハウルをはじめ9人の新加入メンバーがお披露目された。チアは総勢25人となる。

イ・ダンビは中国語で「皆さんこんにちはイ・ダンビです。皆さんに会えてうれしいです」と挨拶。新シーズンの主な目標に「チアの仲間と応援すること、中国語を学ぶこと、ファンと交流すること」を掲げた。

ジョン・ハウルは、数日前に台北ドームで応援に加わった際、ファンの情熱さが印象深かったとし、中国語での自己紹介でファンからの注目と好意に感謝した。また「今後も一層努力をしていく。皆さん応援よろしくお願いします。ありがとうございます」と話した。

てくてく台湾旅 99

松田義人(deco) / 編集者・ライター

なんでもキャラ化・人形化する台湾 コレクション道の険しい道のり



台湾の企業・団体キャラ 人形収集の世界

僕は台湾に行くと、滞在中必ず各地の跳蚤市場(フリーマーケット)に立ち寄りま。台北の福和橋、重新橋。台中の太原路。台南の帕里明里、永成文創。高雄の凱旋、88など。知らない人は全く知らないこれらの市場ですが、お土産店や量販店ではお目にかからない台湾の生活雑貨がズラリ揃っており、熱烈台湾ファンの僕にとっては「台湾人の生活にもう一歩近づける」ような物ばかりが売られています。だいたいの中古品ではありますが、そのため、現行商品ではない古い物にも出会える機会が多く、やはり台湾のショッピングで絶対に欠かせない跳蚤市場巡りです。

こういった跳蚤市場の各店には、ときどき日本人にとっては見慣れないキャラクターの人形や貯金箱が販売されています。それも日本人の美的センスとは違う、台湾特有の感覚で作られたキャラクターばかりで、これがまた台湾的でシビれます。

中華郵政の配達員人形や、大同坊やなどの人形は超有名ですが、これ以外にも台湾の企業、警察官、軍人、憲兵、地方自治体ものなど。もう全てのブランド・団体にキャラクターがいて、それを人形化しているんじゃないかと思えるほどですが、知れば知るほどに欲しくなるのが偏愛台湾の自分です。これまでは跳蚤市場を巡って20年近くアレコレと買い集めてきました。

しかし、どうしても行き当たりバッタリの人形との出会いばかりです。「もっと効率良く台湾キャラクターの人形をゲットするためには!？」と考え、やがて台湾の『Yahoo奇摩拍賣(台湾版ヤフーオークション)』『露天(個人・企業の販売サイト)』などを連日ネットサーフィンするようになりました。しかし、ここでまた知らない台湾キャラクターと出会ってしまうこともあります。このコレクションの世界は実に険しい道のりであると実感すると同時に、日々また台湾キャラクターを追いかけ続けています。

200体をオーバー 専用のショーケースを設置

ただし、日本人で日本在住者の僕は、『Yahoo奇摩拍賣』『露天』などに参加することができません。また、大半の出店者は日本への発送もしてくれないことから「欲しい人形がいっぱいあるのに、どうしたら良いか」と考えあぐねました。日本にはこういったネット販売を代行する業者も存在しますが、手配に時間がかかることに加え、手数料がペラボウに高く、本来の商品価格の3~4倍に膨れあがってしまうことも。

そこで、僕は台湾人の友人に頼みこみ、いくばくかの手数を払って、台湾で複数の商品を代わりに購入してもらい、まとまったところで日本に発送してもらったり、僕が台湾に向う際に受け取りに行ったりするようになりました。かなり面倒臭いお願いになるので、お願いしている台湾人の友人には超恐縮ですが、そこは優しい僕の友人たち。「全然面倒臭くないよ。大丈夫! それより松蔭(ソンチャン=僕の名前)が買った台湾キャラクターたちを見て、癒されるよ!」なんて言ってくれます。なんて大人で優しいんだ台湾人!

そんなこんなで最近では、事務所に「台湾キャラクター専用ショーケース」も設置。200体以上の台湾キャラクターたちが鎮座する環境で仕事をしています。事務所にいる、台湾を全く知らない人はたいがい興味悪くありますが(笑)、それでも台湾キャラクターたちが身の周りにいることで、「台湾人の友達と一緒に過ごしている」ような安心感からかなり仕事はかどっています。



台湾プロ野球台鋼 ホーム開幕戦のゲストに 新旧侍J監督の栗山氏、井端氏

台湾プロ野球・台鋼ホークスは3月25日、台湾・高雄市の澄清湖野球場で4月5日に開催するホーム開幕戦に、野球の日本代表前監督・栗山英樹氏と現監督の井端弘和氏をゲストに招待すると発表した。1軍参入初年度となる台鋼の歴史的なホーム開幕戦に花を添える。

栗山氏は2023年のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で、日本代表を世界一に導いた。井端氏は現在の日本代表監督で、22年に台鋼の客員コーチを務めていた。

台鋼はこの日、報道資料を発表し、ホーム高雄の歴史的な開幕戦に参加できるとも

光栄だとする栗山氏のコメントを掲載。昨年末、日本ハム監督時代の教え子・王柏融の台鋼入団が決まった際に「いつか台湾に見に行く」と応援メッセージを送っており、今回主将としてチームをけん引する王が見られることを楽しみにしていると話した。

客員コーチを務めた後もチームの状況に関心を寄せていたという井端氏は、かつてコーチした球団が、いま1軍で戦うことになりとてもうれしいと話し、今季の台鋼活躍を期待した。

ホーム開幕戦の対戦相手は富邦ガーディアンズ。



栗山英樹氏(写真提供:中央社、日本ハム)

相続・贈与・登記・国際税務

黒澤合同事務所グループ

1972年創業

<p>【司法書士】 不動産登記、会社登記</p> <p>【税理士】 税務、会計、 非常住居民的納税管理人</p>	<p>【土地家屋調査士】 房屋新建・拆除、 土地分割・合併、 測量全般</p>	<p>【公認会計士】 事業計画・股價估算、 向外資企業提供各項、 服務的國際業務</p>
----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

人員招聘(台湾人歓迎)※詳情見下文

東京都中野区中野4-4-11
会長 黒澤 功記
社長 黒澤 功栄

kurosawa@kurosawa.gr.jp
https://www.kurosawa.gr.jp
大代表: 03-3388-9638
中文服務專線: 03-3388-2520 (程)



東京食品展登場 台灣館再創紀錄集結13縣市178家廠商



【東京／採訪報導】2024東京食品展於3月5日登場，今年經濟部國際貿易署與外貿協會共同組成台灣館，集結台灣178家廠商，使用189攤位，是東京食品展的第二大館，同時也有13個縣市政府、8大食品公會踴躍參與，其中9位縣市長出席台灣館的開幕活動，再創歷史新高，貿協今年也成立台灣雙館，透過雙管齊下展現台灣特色美食及創新產品。

台灣館開幕儀式於首日登場，外貿協會董事長黃志芳、經濟部國際貿易署副署長李冠志、駐日代表謝長廷、農業部主任秘書范美玲等特別出席共襄盛舉。台南市市長黃偉哲、苗栗縣縣長鍾東



今年集結13縣市、178家廠商參與連東京食品展第二大的外國參展國。

黃董事長說，我們有178家最優良的企業，帶來他們最新的研發產品，針對日本的消費市場跟最新的流行趨勢，帶來最精彩的产品，所以這次台灣館一定會是東京食品展裡面最熱門，而且最距離、能量最強的一個展覽館，我們邀請所有在場的貴賓，在接下來四天來盡情參觀台灣館，欣賞台灣在食品農產品各方面最新的產品、最優良的技術。

李冠志副署長說，不管是出展家數、展出的面積，還有我們的攤位的數目，都持續創下歷史的新高。我們有希望藉著食品展，將台灣最優良的食品，農業領域的農特、水產、畜牧等所有的這些特色產品，還有技術、非常好的品質，以及非常重要的市場服務、客戶服務的關係來向日本的朋友推廣，也進一步的向全世界推廣，在品嚐到台灣的食品的時候，不再只是好吃、不再只是很好，還有更多的幸福感，也希望藉由參展，把



黃志芳董事長致詞

食品背後代表的台灣產業的精神特色、人情的風味，以及我們整個國家的優美的風景，自然的景觀等，向日本向全世界做更好的推廣，也把滿滿的幸福感傳遞到全日本、全世界每一個角落。

駐日代表謝長廷表示，台灣館不僅熱鬧、幸福，更主要是有13個縣市，還有農業部、八個食品相關的工會協會的捧場，才有這個場面。剛才講為什麼縣市都來？主要這個商機無限，為了自己的縣市推銷自己的產品，所以大家都來參加，2023年出口到日本食品達200多億台幣，換成美金大概7億多，但是日本從外國進口的這個食品是151美金，是4500億台幣。所以潛在商機還非常大，很多日本人到台灣買台灣的食品、水果餅乾等，要怎麼找到符合日本的文化、習慣，並將產品推銷出去，這就是台灣館的最大目的。所以剛剛李副署長說的，台灣的产品不僅好吃，還有幸福吃到嘴裡，所以是給日本帶來幸福，也希望透過這個活動大家幸福滿滿，商機無限。



駐日代表謝長廷也出席位業者加油打氣

芳茲生技張仕霖表示，去年起品牌計畫在全世界拓展，其中包含日本、美國、新加坡、馬來西亞等國，因此特別來日本東京食品展參展，希望能讓日本民眾認識雞精、滴魚精、黃金鮭精、薑黃滴雞精、松露滴雞精等，因為除了華人以外，日本民眾對於養生有相當講究，健康意識高，也能接受保健產品，所以希望能找到代理商，讓他們去做地推在幾個重要通路上架，或找到藥妝店通路合作。

菓場國際表示，這次帶來的台灣生食級台灣石斑魚切片，因為養在海裡的箱網，不可能有用藥，也不用擔心土土裡面的腥味，應用在生食上有很大的幫助，且送到工廠都是活魚，並立即放血、取肉，然後用超低温急速冷凍，獲得日本這邊的商社認可，也在去年進到藏壽司做成石斑魚生魚片握壽司販售，是日本首創，另外黃金鮭的生食部分也有在日本的中小型連鎖壽司合作推出。

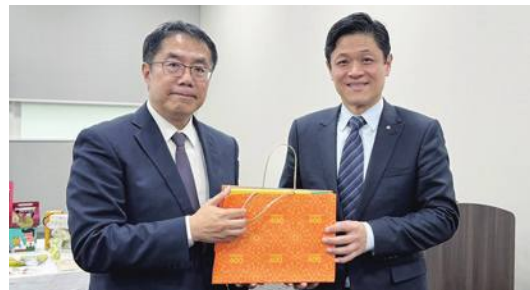
台南市與日商登豐商事簽約 建立農產拓銷長期關係



簽約儀式紀念合影

【東京／採訪報導】為了拓展台南市農產品海外通路，台南市長黃偉哲帶領市府團隊和農漁業者參加東京食品展，並以此出展之餘連結日本當地商社，盼運用當地商業資源深耕日本市場的規劃及佈局，3月5日台南市長黃偉哲也與登豐商事簽約，建立為台南農產拓銷的長期關係。簽約儀式由黃偉哲市長與陳五福社長一同簽署，橫濱辦事處處長張淑玲、日本台灣商會聯合總會總會長錢妙玲也一同出席見證。

黃偉哲市長表示，台灣跟日本距離那麼近，雙方邦誼深厚，不管是東日本大地震台灣對日本的支持，或是新冠疫情期间日本對台灣疫苗的支持，都充分見證大家友誼非常深厚，很重要的是除了支持，我們很多



雙方互換紀念合影

飲食習慣可以與日本相似，所以我們一直想要把台南的好東西，台灣的好東西跟好朋友一起分享。

黃市長也說，台南市致力於開拓外銷通路，尤其是走精緻高階的日本市場，極力整合業者尋找合適的通路和合作夥伴與日本的進口商、分銷商或零售商，幫助業者推廣和銷售農產品，同時建立台南優質農產品的品牌形象。登豐商事社長陳五福曾任東京台灣商會會長及日本台灣商會聯合總會會長還有亞洲台灣商會聯合總會總會長，在於貿易上有非常資深的經驗，運用在地資源積極推動台灣農產品在日本的超市販售以及與日本當地大型活動合作，期盼日後的合作為臺南農產開啟新契機，並能更順利共同推廣農特產品。



陳五福社長致詞

陳五福社長表示，登豐商事在日本創立28年，以綜合商社做各方面的連結，會與農業有連結是因為四年前的水果禁運，當時就在僑界發起，將台灣鳳梨帶到日本，當時看到黃偉哲市長為了推廣台灣農產品，帶著一級長官到處去推廣，讓我們感到非常感動，我們地方父母官就是為了地方農民生機、商機努力，所以結下這層緣分。後來也透過台灣祭讓日本民眾品嚐到台灣的美食、體驗到幸福的口味，並一步一腳印推廣，讓台灣農產品以高規格到日本超市販售。

陳五福也說，台日關係從東日本大地震後，關係變得越來越友好，再加上第一線的外交官，如張淑玲處長到處播種，才能讓我們現在享受到台日友好的果實。這次與台南市簽約，會盡力讓台南農產品透過各管道深化到日本，讓日本認識到台南農工商、新科技的大都市，相信這也是台南建城四百年的最佳成果。

農業局長李建裕表示，陳五福社長在日本長期耕耘於台日交流上的各項活動，藉由株式會社登豐商事在於日本推動台灣祭與台灣文化相關的大型活動，未來有機會在日本舉辦促銷及試吃活動，透過大型活動大量流動人潮接觸陌生市場，可直接了解日本。

嘉義縣與日總交流 盼藉台商力量讓農產品穩定發展



日總與嘉義縣交流活動紀念合影

【東京／採訪報導】嘉義縣政府為了推廣農產品，特別組團參加於3月5日舉辦的東京食品展，同時也在前一天3月4日與日本台灣商會聯合總會在新宿點水樓舉辦交流會，希望藉由台商的經驗和協助，讓嘉義縣的農產品能在日本更加順利推廣，有更穩定性的發展。

日總總會長錢妙玲表示，去年剛好公司有跟水保署簽MOU，協助推廣阿里山咖啡在內的台灣咖啡，所以嘉義縣提出交流時就覺得很有緣份，並想將這份在商會延續下去，台商會最主要就是做交流，很高興有這個機會與嘉義縣交流，食品展當天也會有日總成員前往參加。翁縣長上任以來在農業方面積極推廣，人就是回生兩回熟，希望有機會可以繼續交流，把台灣優質農產品推廣給日本，而自已本身目前也在熊本發展，也歡迎嘉義縣來熊本舉辦展覽，會盡全力給予協助。

翁章梁縣長表示，嘉義縣有為小農設一個品牌，叫「嘉義優鮮」，由縣政府把關，現在有178業者、520產品，加入，因為小農要打廣告、宣傳很難，所以由嘉義縣政府來輔導，變成共同品牌。在日本方面，是將咖啡以沖繩為起點推廣，去年舉辦展售會後獲得很好成績，業者陸續繼續都接到訂單，未來沖繩穩定後，在持續擴大發展，鳳梨和咖啡也是目前嘉義在日本最穩定的，而農產品能進到日本也是品質的肯定，未來希望其他產品也能輸入日本，但過程會有許多複雜問題，要有具體合作，進步性的發展，就需要台商朋友的協助，所以今天很高興能跟台商朋友見面，也歡迎大家到嘉義來。

翁縣長也說，嘉義是很適合農業發展的地方，也是台灣的糧倉，不過嘉義現在也有六個產業區同時在開發，包括科學園區、無人機的國家隊，全台灣無人機目前定調在嘉義，現在有研發中心，未來也會規畫產業園區，研發中心也全部爆滿，其中也與17個國家在無人機相關產業接觸過，科學園區也在發展中，我們也希望台積電有機會到嘉義來，發展先進封測，因應AI需求。此外除了農業、科技外，也有OUTLET計畫人駐高鐵站附近，同時從嘉義縣政府到火車站也規劃重劃區，五、六年後會成形，也歡迎房地產業者關注。



翁章梁縣長致詞



日總總會長錢妙玲致詞

之後翁章梁縣長和農業處處長許章敏也都詳細介紹嘉義的農產品相關產業發展等，同時這次嘉義縣也帶領9家業者到日本參加東京食品展，嘉義縣也歡迎大家到展場了解當地的農產品。交流會在日總總會長帶領領乾杯儀式後正式開始，現場許多日總理事們都紛紛與縣府人員交換名片，互相了解認識，尋找未來一同在日本推廣嘉義縣農產品的可能性，場面相當熱絡，象徵著這次的交流活動圓滿成功，最後在副總會長張素娥、鍾春昌致閉幕詞後，為活動畫下句點。

Information

(京都) 台灣祭 in 京都 2024
場所: イオンモール KYOTO
時間: 3/20~5/6
主催: 台灣祭実行委員会

(東京) 台灣祭 in 東京スカイツリータウン 2024
場所: 東京スカイツリータウン4階スカイアリーナ
時間: 4/13~5/26
主催: 台灣祭実行委員会

(東京) 2024 Taiwan Semiconductor Day
場所: パレスホテル東京
時間: 4/2
主催: 台北市コンピュータ協会



摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩。行深波若波羅蜜多時。照見五蘊皆空。度一切苦厄。舍利子。色不異空。空不異色。色即是空。空即是色。受想行識。亦復如是。舍利子。是諸法空相。不生不滅。不垢不淨。不增不減。是故空中無色。無受想行識。無眼耳鼻舌身意。無色身香味觸法。無眼界。乃至無意識界。無無明。亦無無明盡。乃至無老死。亦無老死盡。無苦集滅道。無智亦無得。以無所得故。菩提薩埵。依般若波羅蜜多故。心無罣礙。無罣礙故。無有恐怖。遠離顛倒夢想。究竟涅槃。三世諸佛。依般若波羅蜜多故。得阿耨多羅三藐三菩提。故知般若波羅蜜多。是大神咒。是大明咒。是無上咒。是無等等咒。能除一切苦。真實不虛。故說般若波羅蜜多咒。即說咒曰。揭諦揭諦。波羅揭諦。波羅揭諦。波羅揭諦。菩提薩埵。

台灣人開的美髮室

- 整髮 プロー 1,000 円
- 洗+吹髪 シャンプー+ブロー 1,800 円
- 剪髪 カット 2,600 円
- 染髪 カラー 6,000 円
- 調色 メッシュ 6,000 円
- 燙髪 パーマ 6,000 円

*長髪染、染、調色追加1000円
ロングヘアの場合はパーマとカラーとメッシュが千円を追加します。

千晶 Hair Salon

營業時間 10:00-19:00 電話予約制 090-3090-2988
東京都新宿区歌舞伎町2-45-5 新宿永谷ビル202室(東田 晶)

碧鳳水元宮

本宮宗旨、本宮の趣旨は、祈福消災、厄難を払い除け、祝福をする。指點迷津、迷津の指導(なぐさすも)、批八字、祭改、四柱推命、厄祓い、心霊改革、心の改め、不欺不騙、欺くことなく、不驕不傲、傲慢せず、不遜で、正義取道、正義が導き、方為正道。正しい道である。

宮主 羅祝英

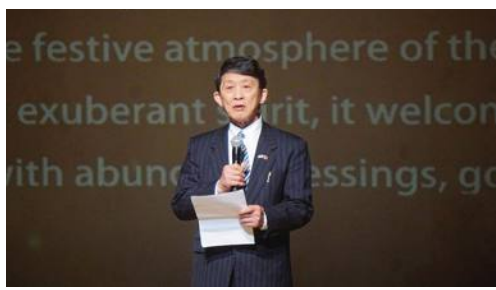
● TEL:0426(67)7867 FAX:0426(67)7868
〒193-0834 東京都八王子市東浅川町537番52

火曜日定休日

僑委會春訪團東京公演 當代樂坊精彩演出獲滿堂彩



「當代樂坊」演出獲得滿堂彩



日本中華聯合總會會長羅鴻健致詞



春訪團公演紀念合影



橫濱辦事處處長張淑玲致詞

【東京／採訪報導】僑務委員會2024年春節文化訪問團亞太團巡迴公演的日本場於3月1日來到東京淺草公會堂演出，這次是睽違四年再度演出，邀請到知名「當代樂坊」，吸引旅居關東地區僑領、僑胞，以及日本民眾約有1000多人前來，現場座無虛席，當代樂坊的精彩演出也獲得滿堂喝采。

「當代樂坊」是來自宜蘭的表演團體，演出足跡遍及歐、美等地，可以說是國家級的樂團，同時也從2015年起承辦「丟丟銅鑼城國際音樂節」，邀請世界各國的團體演出，是宜蘭具代表性的藝術活動之一。

這次的春訪團的公演中，「當代樂坊」將許多傳統文化與現代舞結合，再加上音樂的陪襯，讓每段演出都獲得喝采，其中像是「簞路藍縷」，透過現代舞演繹出渡海到台灣過程的艱辛，亦或是最後「年來了」，透過與觀眾的

互動拍手來代替鞭炮聲，將年獸趕走，都讓大家留下深刻印象。駐日代表謝長廷夫婦也出席此次活動，謝代表致詞時表示，很高興能參加春訪團的公演，這次是東京疫情後第一次演出，「當代樂坊」是台灣非常知名的團體，在全世界巡迴演出，也獲得很多好評，也非常感謝他們到東京演出，還有辛苦的執行委員會，讓活動順利演出，而台灣和日本有共同的民主價值觀，台灣是站在最前線守護民主，希望日本的大家可以繼續支持台灣。

主辦此次春訪團公演的日本中華聯合總會會長羅鴻健表示，很感謝僑委會帶著那麼優秀到表演團體到日本來，讓我們海外僑胞有機會欣賞台灣最精彩、世界級的演出，春訪團團已經有四年沒有來日本表演，今天能看到表演真的很感動，內心感到非常興奮，也可以讓海

外僑胞在春節前後欣賞台灣傳統與現在結合的表演，體驗傳統中華文化在台灣的創新，也開啟台日文化交流。橫濱辦事處處長張淑玲表示，提到春節，如果沒有春訪團的公演，就不能說是春節結束，這次睽違四年的演出，不僅僑胞，也有像是靜岡等地的市長、町長專程來觀看精彩的表演，這次礙於海外公演，演出人員較少，請大家有機會一定要到台灣欣賞最原汁原味的演出。日本中華聯合總會羅鴻健會長、執行委員會的大家也辛苦了，謝謝大家。

演出結束後，執春訪團公演行委會長洪益芬致開幕詞感謝精彩演出和工作人員的辛苦，「當代樂坊」也與出席貴賓們合影。春訪團下一場則將前往馬來西亞、越南及泰國等國巡迴訪演。



春訪團東京公演登場「當代樂坊」精彩演出獲好評



駐日代表謝長廷夫婦也出席觀賞公演

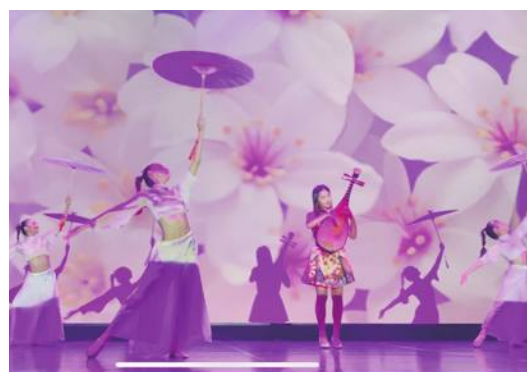


「當代樂坊」演出

僑委會春節文化訪問團 大阪公演盛大成功



洪英傑處長和團員及日本貴賓及僑胞合影



表現客家文化元素的「戀戀桐花」舞蹈演出



當代樂坊團員充滿活力的精彩演出

【大阪／採訪報導】僑務委員會春節文化訪問團-當代樂坊於2月27日在大阪市舉辦亞洲地區第二場公演，駐大阪辦事處洪英傑處長偕楊慧萍僑務秘書等同仁出席，出席來賓包括主辦單位大阪中華總會郭重信會長、理監事會會員、名古屋及關西地區僑胞，另大阪府議會日華親善議員聯盟杉江友介會長、大阪府議會森田彩音議員、中野稔子議員、東大阪市議會野田彰子議員、神戶市議會高瀨勝也議員、岩佐健久議員、坂口有希子議員、宮田公子議員、大阪府議會日華親善議員聯盟永野孝男前會長等，現場高朋滿座共吸引約八百餘位僑胞及日本各界人士前往觀賞。

洪英傑處長致詞感謝大阪中華總會熱心承辦僑務委員會春節文化訪問團活動，期許「當代樂坊」所帶來具有臺灣文化創意及節慶元素的內容，能撫慰僑胞思鄉情懷，同時藉此也讓更多國際友人看見臺灣多元文化的軟實力。

「當代樂坊」透過國樂樂器結合電音、舞蹈、戲劇等表演，以「春節序曲」、「磐古開天」、「簞路藍縷」、「美麗的故鄉」、「戀戀桐花」、「福蔭大地」等主題介紹臺灣的多元文化，不論是服裝造型、燈光音響和美術設計都融入許多台灣文化元素。

團員們充滿青春活力，具臺灣文化特色的精彩演出，贏得觀眾滿堂喝采。中間還安排團員與觀眾互動橋段，現場氣氛十分歡樂。會後觀眾一致讚嘆這是一場高水準的文化饗宴，內容極富創意。活動最後邀請洪英傑處長、郭重信會長及日籍貴賓上臺與團員及現場觀眾合影，氣氛熱鬧。僑務委員會「113年春節文化訪問團-當代樂坊」自2月24日首站於菲律賓宿務演出，結束日本大阪公演後，將繼續前往東京、馬來西亞、越南及泰國等地巡迴演出。

洪英傑處長致詞感謝大阪中華總會熱心承辦僑務委員會春節文化訪問團活動，期許「當代樂坊」所帶來具有臺灣文化創意及節慶元素的內容，能撫慰僑胞思鄉情懷，同時藉此也讓更多國際友人看見臺灣多元文化的軟實力。

團員們充滿青春活力，具臺灣文化特色的精彩演出，贏得觀眾滿堂喝采。中間還安排團員與觀眾互動橋段，現場氣氛十分歡樂。會後觀眾一致讚嘆這是一場高水準的文化饗宴，內容極富創意。活動最後邀請洪英傑處長、郭重信會長及日籍貴賓上臺與團員及現場觀眾合影，氣氛熱鬧。僑務委員會「113年春節文化訪問團-當代樂坊」自2月24日首站於菲律賓宿務演出，結束日本大阪公演後，將繼續前往東京、馬來西亞、越南及泰國等地巡迴演出。

DAISANGEN

未来を共に創造する

買賣 · 出租 · 管理

大三元在日本國內與海外都有強大的投資管道。配合顧客的要求，提供打造全程的服務。

株式会社 大三元 | 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 | 03-5917-0727 | 03-5917-0047 | 08030136399 | info@dsg140613.com | www.dsg140613.com

<p>【賣買】土地</p> <p>東武東上線 池袋駅 徒歩1分</p> <p>各線 池袋駅 徒歩10分</p> <p><販売価格> 560,000 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都渋谷区円山町</p> <p>・建物構造: 一</p> <p>・築年月: 一</p> <p>・土地面積: (公簿) 601.17㎡ (約181.85坪)</p> <p>・延床面積: 一</p> <p>・現況: 一</p> <p>・引渡: 一</p>	<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>THE V-CITY 麻布十番 EAST GRANDE</p> <p>都営大江戸線 麻布十番駅 徒歩1分</p> <p>東武東上線 麻布十番駅 徒歩1分</p> <p><販売価格> 427,500 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都港区東麻布3丁目5番(以下未定)</p> <p>・建物構造: RC造地上地下1階付6階建</p> <p>・築年月: 2024年3月竣工予定</p> <p>・土地面積: 440.23㎡ (約133.16坪)</p> <p>・延床面積: 1,405.33㎡ (約425.11坪)</p> <p>・現況: 一</p> <p>・引渡: 一</p>	<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>レジデンシャルテージ東新宿</p> <p>都営大江戸線 東新宿駅 徒歩3分</p> <p>東武東上線 東新宿駅 徒歩5分</p> <p><販売価格> 330,000 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都新宿区歌舞伎町2丁目19-12</p> <p>・建物構造: SRC造陸屋根地下1階付地上12階建</p> <p>・築年月: 2003年2月</p> <p>・土地面積: 439.43㎡ (約132.93坪)</p> <p>・延床面積: 2,949.24㎡ (約892.15坪)</p> <p>・現況: 一部賃貸中</p> <p>・引渡: 一</p>	<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>THE CITY 西麻布II</p> <p>東武東上線 六本木駅 徒歩6分</p> <p>東武東上線 乃木坂駅 徒歩9分</p> <p><販売価格> 198,000 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都港区西麻布1丁目9番(以下未定)</p> <p>・建物構造: RC造地下1階付地上2階建</p> <p>・築年月: 2023年8月竣工予定</p> <p>・土地面積: 262.04㎡ (約79.26坪)</p> <p>・延床面積: 557.58㎡ (約168.66坪)</p> <p>・現況: 一</p> <p>・引渡: 一</p>	<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>南長崎五丁目店舗ビル</p> <p>東武東上線 長崎駅 徒歩1分</p> <p><販売価格> 63,500 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都豊島区南長崎5丁目24番11号</p> <p>・建物構造: SRC造陸屋根地上2階建</p> <p>・築年月: 2010年8月</p> <p>・土地面積: (公簿) 218.15㎡ (約65.99坪)</p> <p>・延床面積: 336.01㎡ (約101.64坪)</p> <p>・現況: 一</p> <p>・引渡: 2023年9月末希望</p>
<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>レグノコンフォート浅草III</p> <p>東武東上線 三ノ輪駅 徒歩9分</p> <p><販売価格> 47,000 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都台東区千束4丁目46-10</p> <p>・建物構造: RC造陸屋根地上5階建</p> <p>・築年月: 2017年1月</p> <p>・土地面積: (公簿) 111.64㎡ (約33.77坪)</p> <p>・延床面積: 453.10㎡ (約137.06坪)</p> <p>・現況: 一棟賃貸中</p> <p>・引渡: 相談</p>	<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>レグノコンフォート浅草II</p> <p>東武東上線 三ノ輪駅 徒歩9分</p> <p><販売価格> 47,000 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都台東区千束4丁目46-10</p> <p>・建物構造: RC造陸屋根地上5階建</p> <p>・築年月: 2017年1月</p> <p>・土地面積: (公簿) 111.64㎡ (約33.77坪)</p> <p>・延床面積: 453.10㎡ (約137.06坪)</p> <p>・現況: 一棟賃貸中</p> <p>・引渡: 相談</p>	<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>浅草橋 空ビル</p> <p>京中央線 浅草橋駅 徒歩1分</p> <p>都営浅草線 浅草橋駅 徒歩3分</p> <p><販売価格> 40,000 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都台東区浅草橋1丁目5-9</p> <p>・建物構造: RC造陸屋根地上4階建</p> <p>・築年月: 一</p> <p>・土地面積: (公簿) 85.38㎡ (約25.83坪)</p> <p>・延床面積: 236.73㎡ (約71.61坪)</p> <p>・現況: 一部老前所有者使用中(空き予定)</p> <p>・引渡: 相談</p>	<p>【賣買】土地</p> <p>南有明線 北本駅 徒歩20分</p> <p><販売価格> 25,000 万円(税込)</p> <p>・住所: 埼玉県北本市本宿5丁目113、114</p> <p>・建物構造: 一</p> <p>・築年月: 一</p> <p>・土地面積: 2,174.23㎡ (約657.70坪)</p> <p>・延床面積: 一</p> <p>・現況: 一</p> <p>・引渡: 一</p> <p>※本物件上に、建物2棟が存在します。</p>	<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>スカイレジデンシャルタワーズノースウイング</p> <p>京浜東北線 与野駅 徒歩2分</p> <p><販売価格> 19,100 万円(税込)</p> <p>・住所: 埼玉県さいたま市中央区下藩倉1712番地</p> <p>・建物構造: SRC造陸屋根地下1階付地上20階建</p> <p>・築年月: 2003年1月</p> <p>・土地面積: 2,689.35㎡ (約813.53坪)</p> <p>・延床面積: 12,925.83㎡ (約3,910.06坪)</p> <p>・実床面積: 203.51㎡ (約61.56坪)</p> <p>・現況: 賃貸中</p> <p>・引渡: 相談</p>
<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>羽沢一丁目ビル</p> <p>西武有明線 新桜台駅 徒歩1分</p> <p>西武池袋線 江古田駅 徒歩8分</p> <p><販売価格> 17,000 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都豊島区羽沢1丁目7番10号</p> <p>・建物構造: RC造陸屋根地上5階建</p> <p>・築年月: 2013年11月</p> <p>・土地面積: (公簿) 59.28㎡ (約17.93坪)</p> <p>・延床面積: 202.10㎡ (約61.13坪)</p> <p>・現況: 一</p> <p>・引渡: 一</p>	<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>サニー四つ木</p> <p>京成東上線 お花茶屋駅 徒歩9分</p> <p>京成石川駅 徒歩16分</p> <p><販売価格> 10,400 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都葛飾区四つ木5丁目11-4</p> <p>・建物構造: 鉄骨造地上3階建</p> <p>・築年月: 1988年7月</p> <p>・土地面積: (公簿) 115.74㎡ (約35.01坪)</p> <p>・延床面積: 191.04㎡ (約57.78坪)</p> <p>・現況: 一</p> <p>・引渡: 一</p>	<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>西荻北三丁目ビル</p> <p>京中央線 西荻北駅 徒歩4分</p> <p><販売価格> 9,990 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都杉並区西荻北3丁目41-13</p> <p>・建物構造: RC造陸屋根地上3階建</p> <p>・土地権利: 所有権</p> <p>・築年月: 1986年5月</p> <p>・土地面積: (公簿) 69.42㎡ (約21.00坪)</p> <p>・延床面積: 157.11㎡ (約47.53坪)</p> <p>・現況: 一居室</p> <p>・引渡: 相談</p>	<p>【賣買】一棟ビル</p> <p>荒木ビル</p> <p>京浜東北線 東十条駅 徒歩8分</p> <p>各線 赤羽駅 徒歩15分</p> <p><販売価格> 9,000 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都北区東十条5丁目7-12</p> <p>・建物構造: RC造地上7階建</p> <p>・築年月: 1990年3月</p> <p>・土地面積: (公簿) 57.85㎡ (約17.53坪)</p> <p>・延床面積: 142.86㎡ (約43.29坪)</p> <p>・現況: 空室</p> <p>・引渡: 一</p>	<p>【賣買】区分店舗・事務所</p> <p>ハイツ本町</p> <p>京王東横線 幡ヶ谷駅 徒歩5分</p> <p>京王横濱線 初台駅 徒歩7分</p> <p><販売価格> 3,790 万円(税込)</p> <p>・住所: 東京都渋谷区本町1丁目18-2</p> <p>・建物構造: RC造地上7階建</p> <p>・築年月: 1974年3月</p> <p>・土地面積: (登記) 59.74㎡ (約18.07坪)</p> <p>・延床面積: 一</p> <p>・現況: 賃貸中</p> <p>・引渡: 相談</p>

日總返國致敬團晉見副總統賴清德 獲勉勵台日合作共創雙贏



拜會一景 (照片提供：中央社)

【台北／採訪報導】日本台灣商會聯合總會於3月11日起至3月13日止，組成返國致敬團，回到台灣拜會中央黨部與地方政府等，首站來到總統府晉見副總統賴清德，賴副總統肯定日總成員在日本奮鬥，還不忘關心自己國家，也期盼與大家一同深化台日關係，促進經貿合作和穩定區域和平，錢總會長也說日總會繼續協助政府推動政策，一同形成海外的台灣隊為台灣爭光。

賴副總統在總統府接見「日本台灣商會聯合總會回國訪問團」，他感謝大家長期以來，對台灣有錢出錢、有力出力，數十年來，大家在日本奮鬥打拚，占有一席之地，不忘關心自己國家，令人非常感動。

賴副總統表示，台日關係非常深厚，這也是大家共同努力的結果；他透露，剛才才跟日華總會長古屋圭司見面，言談之中，大家都認同幾個事情，第一、日本與台灣是患難見真情，台灣有困難時，日本幫助台灣，日本遭逢困難時，台灣也幫助日本，大家關係非常深厚。

賴副總統說，第二、台日經濟合作發展非常密切，特別是最近台積電到熊本投資，第一廠已經開始生

產，現在日本政府也願意再支持第二廠、甚至第三廠，所以，可以想見的未來，在全球智慧化時代來臨的機會當中，台日合作一定是更密切，這不僅可以創造台日雙贏，也可以對世界經濟繁榮做出貢獻。

他認為，台日都是民主國家，享有民主自由人權的共同價值，也都在第一島鏈上面，休戚與共、唇亡齒寒，有民主共同體的精神。賴副總統也說，與會者很多都是老朋友，他長期受大家支持，非常感激；他提到，S20總統就職時，請大家撥空回國參加就職典禮。

總會長錢妙玲致詞時首先代表日本台灣商會連合總會全體理事恭賀賴副總統當選中華民國第16任總統，也是中華民國首位具有醫師專業的總統、首位以副總統身分競選成功的總統。

錢妙玲說：「我們身在海外的台商，時時刻刻繫著台灣，但畢竟因為身在海外，對台灣的資訊掌握上會比較少，因此才有這次的訪團，希望透過實際拜訪台灣各單位，了解台灣目前發展的現狀及未來的施政方針，當我們海外台商充分了解後，也能在僑居地協助政府推動，一同形成海外的台灣隊為台灣爭光。」

錢妙玲還說，今天是特別的日子，大家都知道13年前



拜會總統府 (照片提供：總統府)



副總統賴清德(前右)與日總會長錢妙玲(前左)握手致意 (照片提供：中央社)

前的今天日本發生311大地震，今年已經13週年了，賴副總統2011年在擔任台南市長時也特別關懷311震災區民眾，今年元旦日本發生能登地震後，蔡總統、賴副總統都在第一時間發文關懷，讓許多日本民眾心懷感恩。2021年3月起，中國以檢疫為由暫緩台灣鳳梨進口後，日本在第一時間力挺台灣。2021年在台灣疫情險峻時，日本政府也第一時間提供疫苗給台灣。

錢妙玲表示，台日兩國互相扶持的事蹟不勝枚舉，台日關係是世界上友好關係的最佳典範。鑑於中國去年8月以福島第一核電廠核廢液排海為由，全面禁止進口日本水產品，這次「日總」特別準備了北海道產的干貝乾作為禮物送給副總統，同時也是展現日總支持日本水產的決心。

她還說，對於這次的石川縣能登地震，日總也秉持人飢己飢、人溺己溺的精神支援，募集逾1000萬日圓善款捐贈給石川縣，希望能讓災民感受到來自台灣的溫暖。日總今後在盡力協助政府拓展外交及經貿交流之餘，也會作為促進台日友好的橋樑，促進台日關係更加密切發展。

日總訪團拜會僑委會 徐佳青委員長盼台商與日共組台日合作隊



日總訪團拜會僑委會紀念合影

【台北／採訪報導】日本台灣商會聯合總會返國致敬團3月11日最後一站來到僑務委員會拜訪，僑務委員長徐佳青特別出席與成員們座談，並且回答成員們對於僑務相關的問題等，晚間也特別設宴款待日總訪團，並盼未來台商能與日本組成台日合作隊，創造全新的合作模式。

徐佳青委員長表示，從這次的拜會來看，日總大家都很有心，希望能夠讓台日之間的連結更加緊密，各位長期以來在日本商界都非常積極地耕耘、布局，未來也會有更多的機會可以在日本做更好的商業經營，今天早上賴副總統也特別勉勵，大家在日本的經商跟工作有成之餘，也能夠對日本有為的政治人物給予更多的支持，不分什麼黨派，我們都對於支持台灣的日本政治人物，都保持著非常友善的態度，台灣有事就是日本有事已經成為台日共同的理念，這是一個事實，因為台灣海峽一旦受到任何的干擾，都會影響全球GDP50%，首當其衝的就是日本跟韓國，所以真的台灣有事就是日本有事，就是韓國有事，也是全世界都有事，這也是近年來國際社會對於台灣海峽的兩岸局勢有高度關注。

徐佳青委員長肯定日總和六個地區會的持續發展，她也提到，很樂見培養年輕一輩的新血加入青商會，一年一年更加壯大，特別是今年熊本的台



徐佳青委員長致詞

積電工廠開始動工，日本迎來結束失落的三十年，我相信從今年開始，一定會有新的發展，期許大家繼續做台灣最重要的一線外交官，在民間推動各項公眾外交，讓台日民間友誼更加深厚。

徐佳青委員長也說，今天也是日本311地震13周年，我知道日本歷經311他們在復興的過程當中，展現出非常積極且很有韌性，各位就是最重要的見證者，我們也期許未來台日可以發展更好的合作跟互動的關係，我們也勢必會組成台日的合作隊，這是彼此對彼此都有好的未來的一種合作模式，不管是在台積電或相關產業鏈都是一樣。

錢妙玲總會長則表示，這次的返國致敬團行程是真的很緊湊且困難安排，要感謝僑委會的協助，讓這次行程都可以順利安排成功，同時也要感謝徐佳青委員長和她的團隊，除了這次活動外，一直以來也支持日總和協助培育青商，讓青商會從原本的50幾人增加到100多位。要感謝僑委會給我們那麼大的空間去發揮，也希望接下來每屆日總能繼續促進台日經貿交流，讓台日關係更加密切，也請僑委會繼續多多照顧日總。

座談會結束後，也安排日總訪團到鄰近的餐廳用餐，由僑委會主任秘書張良民接待大家，餐會中日總訪團成員與僑委會的互動良好，討論相當熱烈，也為訪團的第一晚畫下完美句點。

日總訪團拜會台日關係協會 蘇嘉全會長盼台商協助促進台日關係深化



餐敘紀念合影

【台北／採訪報導】日本台灣商會聯合總會返國致敬團3月11日的第二站行程前往台灣日本關係協會，蘇嘉全會長特別安排在萬豪酒店舉辦餐敘招待日總訪團，餐敘中蘇會長也肯定台灣對日本的重要性越來越高，也希望日總成員能繼續協助政府，讓台日關係變得更加緊密。

蘇嘉全會長表示，雖然因為資訊非常發達，大家在日本也能了解台灣的事，但總是想親自回來看一下，台灣就是各位的娘家，就是要回娘家省親，在大選之後，台灣政治情勢的確有一些微妙改變，但是不管怎麼改變，台灣的主體性永遠都不會變，現在全世界對台灣的民主化、自由化都非常肯定，這次總統大選之後，各國都來祝賀台灣，可以看到整個世界的情勢，就像前兩天拜登的國情咨文提到台灣，這個是過去看不到的，全世界對台灣的安全的關心，都可以顯示台灣在全世界的實力絕對是值得。

蘇嘉全會長也說，熊本台積電的工廠在上個月正式完工之後，我相信台灣在日本的重要性更往上提升，熊本二廠也積極的在推動，在兩年應該可以完工，不只是台積電，在日本的投資，甚至於日本企業在台灣的投資也比更多，可見在未來台灣日本的關係絕對會因為各位的努力、雙方政府的努力，而變得更加緊密的結合在一起，也希望大家可以多協助政府，招攬更多日本觀光客到台灣旅遊。

錢妙玲總會長表示，蘇嘉全會長接任以來，台日關係比起以前變得更加密切，日總的責任就是幫政府做交流，所以在去年8月在熊本舉辦台日經濟交流會，從那次後有許多日本的商會都想到台灣交流，從去年到現在應該有10團以上到台灣拜會，很多台商也都慢慢進入熊本，建立台灣村、設立中華學校等，讓台灣人的衣食住行等不用擔心，特別是中華學校也獲得縣廳支持，希望能讓小孩子的教育可以銜接。



蘇會長和台商們合影留念



蘇嘉全會長(左)與錢妙玲總會長(右)交換禮物



蘇嘉全會長致詞

錢妙玲總會長也說，很感謝台灣日本關係協會和外交部人員在第一線為我們服務，讓我們除了在經商之餘，也可以跟很多日本議員等做交流，特別是我們日總成員有很多人都與當地政府或議員保持密切的合作交流，今後日總也會繼續協助政府做好國民外交，也很感謝這次蘇嘉全會長設宴招待大家。

日總訪團與資策會餐敘 盼深化交流增加合作機會

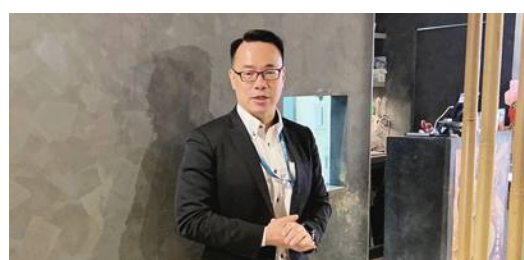


日總訪團與資策會交流紀念合影

【台北／採訪報導】日本台灣商會聯合總會返國致敬團於3月12日與資策會數位轉型研究院副院長陳龍等人一起餐敘，希望藉由交換意見、相互認識，讓日總能來協助解決台灣廠商到日本發展面臨的問題，同時也盼資策會能與日總多交流，未來也能一同合作。

陳龍副院長表示，很感謝在過去經濟部長王美花訪日，以及多次資策會訪日都受到台商朋友照顧，去年鄭文燦副院長訪日，睽違29年政府高官到日本訪問，除了很榮幸是我們單位協助，當時鄭副院長也與台商會有密切交流，而這次的餐敘安排在稻埕，是因為剛好台北市的西區門戶計畫，想藉此讓大家都看看新舊的融合，也歡迎大家到台灣。

錢妙玲總會長表示，與資策會在台灣多次碰面，



陳龍副院長致詞

也很感謝資策會台日中心規劃師張明東，他很認真在做台日之間交流，對於台灣廠商來日本發展我們都發覺共同問題，所以就一拍即合，也覺得日總能幫他們解決問題的話，日總就會是很好的媒介平台，希望藉由今天讓大家都認識一下，日總每個地區會都很熱心，如果只要台灣到當地發展都會給予協助，特別是對新創產業也都支持，也希望有機會多與日總交流，讓大家都一同合作。

這次資策會也安排在地方創生的「鯉魚The Carp」，讓大家品嚐美味的烏魚子料理，同時也能感受老屋翻新、新舊文化結合的感覺，此外日總訪團成員們也用難得的機會與資策會交流，雖然交談時間有限，但大家都積極交流，尋找未來一同合作的機會。

日總返國致敬團拜會經濟部投資促進司 共盼深化台日經貿交流



拜會紀念合影

【台北／採訪報導】日本台灣商會聯合總會返國致敬團3月11日前往經濟部拜會投資促進司，司長張銘斌親自接待訪團一行，在拜會的過程中，投資促進司除了說明台灣目前的發展狀況等，也為台商們解答許多疑惑，讓台商朋友們都直呼拜會非常值得，雙方也盼未來能一起促進台日經貿交流。

張銘斌司長表示，投資促進司過去在館前路，去年七月搬到現在的地址，透過這次拜會能讓大家知道接待台商夥伴的地方，讓大家回國後可以來這裡交流，未來不僅是與大企業交流，各地台商也在台日經貿交流中，扮演重要的角色，投資促進司會做為服務台商的平台來協助大家。

錢妙玲總會長致詞時表示，投資促進司一直都有與

台商做交流，只是過去與日總鮮少有交流機會，大家對這個部門比較不熟悉，所以這次特別安排前來拜會，請投資促進司幫我們做介紹，相信有很多機會都會給我們台商的，希望大家好好把握，特別是台灣有很多政策都對我們非常有利，台商也是人才濟濟，以後會與投資促進司有更多的合作，希望有機會以後有更多的交流。

張銘斌司長也特別介紹目前經濟部內的組織概要，以及近年來台灣產業發展與轉變等，同時也說明投資促進司的英文「inves taiwan」就是想讓大家都知道投資台灣就要找他們，此外也安排了多位其他業務的科長等出席，為台商說明，不少訪團成員都把機會發言，或是給予建議，不論是進出口或是與日本的交涉等，



張銘斌司長致詞

讓現場討論的氣氛變得相當熱烈，活動結束後也有許多人稱讚這次安排拜會投資促進司相當有意義，能更加了解台灣的狀況及解答心中的疑惑等。



理事長蔡明忠致詞



謝豐享理事長致詞

日總訪團與中部對日聯盟交流與台南總工業會 盼攜手促進台日交流



日總與中部對日聯盟交流會紀念合影

【台中、台南／採訪報導】日本台灣商會聯合總會返國致敬團於3月13日分別與中部對日聯盟交流和台南總工業會交流，雙方除了感謝日總協助促進台日企業交流，也希望一同合作，促進台日之間的交流。

台灣知日會理事長謝豐享致詞時表示，台中有很多與日本交流的組織，大家平常都有密切聯繫，主要目的是推動日本跟台灣交流，包括經濟、旅遊、文化等，在台中也有很多對日本有好感、興趣的台灣人，台灣跟日本的友好關係相信大家很清楚，也要感謝台商朋友的推動和協助。

台南市總工業會理事長蔡明忠表示，會與日本台灣商會聯合總會結緣，是因為之前到靜岡縣藤枝市拜訪時，透過橫濱辦事處處長張淑玲介紹認識，就相約在台灣交流，我們也非常感謝日總協助台灣和日本企業交流，以及實質的合作，之前造訪石川縣加賀市等



日總與台南總工業會交流紀念合影

地，都獲得熱烈的接待，也能感受到台日經貿交流非常密切，最後今天非常感謝錢妙玲總會長帶領大家來訪，能跟大家一起交流倍感親切。

錢妙玲總會長表示，這次很高興能跟大家交流，希望能大家一起在台日之間有密切的配合，下次如果有什麼機會，來到日本也要來拜訪我們，這次六個地區會的成員都有出席，此外我們目前都與熊本、鹿兒島有交流，如果未來我們能有幫忙的地方，請盡量提出，我們台商都有實力，也很了解日本。

錢總會長在與台南總工業會交流時也表示，台南一直以來投入許多心力在日本宣傳，效果也非常好，像是芒果已經成為家喻戶曉，台南還有很多物產等都可以送到日本去，這次日總交接也將贈送關廟產綠竹筍，讓理監事們享受台南的好味道。最後也歡迎台南總工業會到日本交流，日總會全力協助。



日總訪團拜會台北市政府 蔣萬安盼借助台商力量招商行銷台北



日總訪團拜會台北市政府紀念合影

【台北／採訪報導】日本台灣商會聯合總會返國致敬團3月12日第二天的行程首站來到台北市，台北市長蔣萬安也特別撥空接待日總訪團一行，蔣市長也盼未來台北市能藉日總的力量，大力招商來投資台北市，並協助台北市行銷，吸引更多日本朋友來訪。

蔣萬安市長表示，我要表達非常感謝，台商朋友在台北深根多年，未來台北市絕對需要對借重大家的經驗和力量，來協助台北市，不管是在文化、產業、體育各方面與日本更密切的交流，台北市與日本的關係越加緊密，包括去年接待非常多日本訪團，除了已有姊妹市等關係，像前首相麻生太郎、東京都知事小池百合子都來訪，與小池都知事對於智慧城市和觀光等方面交流。

蔣市長也說，去年日本來台北市觀光人數僅92萬，

雖然說會受到環境因素影響，但我們希望大力招商，對台北市有更多投資，同時也推展觀光，希望借助台商朋友來協助行銷台北市，甚至結合新北桃基四縣市，安排多元的旅遊行程，對於與日本之間關係的拓展，很希望台商朋友們能給意見，目前團隊也在規劃到日本訪問，預計會拜訪東京、福岡等。

錢妙玲總會長表示，首先要感謝蔣市長在去年青商會回來的時候，特別接見與年輕人交流，日總是由日本六個地區會組成，今天每個地方代表都有來，在聆聽市政報告時，聽到台北市與關係舉辦多場交流，今天出席的關西成員都可以給予很多協助，可以成為市府的後盾，歡迎市府與他們合作。

錢總會長也表示，日總中小企業居多，未來也有可能到台灣發展，同時也有很多日本朋友想到台灣，今天聽



蔣萬安市長致詞



錢妙玲總會長致詞



日總訪團拜會台北市完簡報後，我發現真的很有價值，可以將這些資訊帶回去分享，對商會來講也是很好的開始，也希望日總以後可以跟台北保持友好交流關係，也希望台北市可以提供更多資訊給日總，讓大家知道台北市目前的現況和進行的交流。這次的日總訪團拜會，台北市也特別安排了產業發展局、文化局、觀光傳播局前來為日總做簡報，說明台北市目前的發展現況，以及與日本進行的交流等，台北市各局處精心準備的資料，讓大家都覺得很實用，在活動的尾聲，蔣萬安市長也展現親民一面，與日總訪團逐一合影，讓訪團成員留下深刻印象。

日總訪團拜會台中市 盧秀燕市長盼繼續深化交流創造合作機會



日總訪團拜會台中市紀念合影

【台中／採訪報導】日本台灣商會聯合總會返國致敬團於3月13日拜會台中市政府，市長盧秀燕也親自到場與日總訪團成員交流，除了感謝日總長年來對協助台日交流，盧市長也歡迎日總繼續與台中市創造更多交流與合作機會。

盧秀燕市長表示，在日本奮鬥的商界好朋友們給予市府許多協助，無論出訪日本及與各城市、日本政府間的聯繫，除保持良好關係，也一同行銷台中農產品等經濟作物及各種製品，包含台中磁柑、文心蘭外銷日本的銷量均不錯，希望茂谷柑未來也能夠外銷日本；另外，民眾到日本旅遊時難免發生意外或插曲，也感謝僑界朋友的照顧。

盧市長指出，近年外商對於台中發展前景看好、陸續擴充，日商三井集團繼投資台中港Outlet Park一、二期後，又加碼投資東區Lalaport購物中心；唐吉訶德也看好台中商業環境，在台中老虎城開幕；台中還有台中工業區、中部科學園區等，很多日本廠商來設

廠，對招商引資、民眾就業有很大的幫助，感謝台商在其中積極穿針引線。盧市長現場也分享喜訊，台中自縣市合併以來人口創新高，即將破285萬人，最近也將有慶祝活動，歡迎這段時間還在台中的好朋友們參加。

錢妙玲總會長表示，我們日總以來一直都在台日交流上盡心盡力，每個理事都有各自的專業，特別是在像是食品展等都會來與日總交流，但因與台中交流較少，因此想以此次為契機將交流延續下去，台中市在盧市長帶領下越來越不一樣，很感謝盧市長為台中打拚，讓日本也更加認識台中，也請台中市府提供投資或設公司的資訊，讓日總來介紹給更多日本朋友。

台中市副秘書長林育鴻、農業局副局長蔡勇勝、經發局專門委員林敏棋等均出席交流，雙方針對經貿、農業等議題進行交流，雖然交流時間有限，但透過這次日總拜會，讓雙方有更進一步的認識，也為未來繼續深化交流開啟新的道路。



盧秀燕市長致詞



錢妙玲總會長致詞

日總訪團拜會新北市政府 侯友宜市長：歡迎投資新北市



日總訪團與新北市政府紀念合影

【台北／採訪報導】日本台灣商會聯合總會返國致敬團於3月11日拜訪新北市政府，市長侯友宜與前駐日代表馮寄台一同接待日總訪團，侯友宜市長除了感謝過去訪日時，台商朋友們的照顧，也歡迎台商朋友到新北市投資。

侯友宜市長致詞時，先為日總訪團介紹新北市的地理位置得天獨厚，以及說明了新北市政府目前發展的現狀，成長速度會成為北台灣最快的大都會，在觀光方面也有許多特點，帶動許多產業的發展，以及許多新北市目前的建設、投資、智慧製造等，讓訪團能更快了解新北市。

侯友宜市長也說，也要謝謝日總，在錢妙玲總會長帶領下，提供許多幫助，上次前往日本訪問時，也獲得熱誠招待，讓他倍感溫馨，未來如果只要有機會，歡迎來到新北市，大家的感情不會變，更重要的是跟日本的關係，會持續深化下去，特別是現在台積電熊本工廠開始動工，相信台日關係會越來越好，最後也歡迎大家到新北市投資，或是有時間也要到新北市走走看看。

錢妙玲總會長表示，很謝謝侯市長在去年青商會照訪時的照顧，這次再度來訪是希望透過日總各地區會的力量，來與新北市政府，一同商討有沒有合作的可能性，大家一起來努力，我們各地區商會會長也會積極協助交流和推廣，也希望藉這次機會與新北有更親密深化的交流。

前駐日代表馮寄台表示，看到很多老朋友，就能想到在日本的那段時光，上次很榮幸能與市長一起到日本訪問，承蒙大家的照顧讓行程很順利，雖然回到台灣後跟日本互動少，但中國信託的子公司東京之星銀行也在熊本設立分行，努力推動案子，也如市長所說日本與台灣關係很好，也相信台日之間的關係還需要大家的協助。

之後則由新北市的經濟發展局、農業局、觀光旅遊局、青年局來為日總訪團詳細介紹新北市各個產業領域的發展現況等，同時也開放日總訪團成員提問，讓大家可以更加深入了解，並將成果帶回日本分享出去，或是做為日後到新北市發展或投資的參考用。



侯友宜市長致詞



前駐日代表馮寄台致詞

日總訪團拜會台南市 黃偉哲市長盼促進各層面交流



日總拜會台南市紀念合影

【台南／採訪報導】日本台灣商會聯合總會返國致敬團於3月13日拜訪台南市政府，市長黃偉哲、市議員蔡筱薇等，以及多位局處首長都一同出席，黃偉哲市長也盼藉由日總交流機會，促進各層面交流，也希望日總能給予寶貴意見。

黃偉哲市長表示，非常感謝日本台灣商會聯合總會錢妙玲總會長等人的到訪，歡迎大家回到台灣，有進一步的交流，台商會是台灣朋友在日本最好的團體之一，我希望藉著這個機會，促進商業、文化等各層面的交流，也希望各位提供寶貴的意見。

錢妙玲總會長在致詞時恭喜台南市建城400年，她也表示，跟台南一直以來在食品展等有進行交流，只是正式拜會是第一次，這次也把各地區的理監事來跟大家一起交流，增加以後經貿合作的可能性，也希望以後可以跟台南市保持密切交流，最後也非常感謝黃市長撥空來參加這次的交流會。

蔡筱薇議員則表示，我們跟日本超商連鎖推廣台南在地農漁產品，但也感謝日總提醒，很多產品到日本，日本民眾不知道怎麼食用，像是釋迦，所以我們再推廣時，也要教大家怎麼食用，特別是台灣

是水果王國，去年有幸參加台日高峰論壇，而今年論壇辦在台南，也見證台日友好，也要謝謝大家不論是疫情期間，或是台灣有難時，日本都會跟我們站在一起，也歡迎大家來台南，雖然台灣的首都在台北，但是台灣美食文化都在台南。

在交流會中，台南市也詳細說明目前的產業發展、投資環境等，以及台南引以為傲的美食、文化，讓日總訪團成員更加了解台南市，黃偉哲市長也親自回答訪團成員們的提問和詳細說明等，同時黃偉哲市長也不斷展現幽默，讓現場也歡聲雷動，交流相當熱絡，直到交流會結束前，日總訪團成員們仍在發表建議。

交流會一景

日總訪團拜會桃園市 張善政市長力邀台商投資桃園



日總拜訪桃園市政府紀念合影

【桃園／採訪報導】日本台灣商會聯合總會返國致敬團第二天最後一站來到桃園市政府拜會，市長張善政也親自出席接待大家，除了聆聽訪團成員給予的建議外，張市長也歡迎日總成員未來可以到桃園考察，進而投資桃園，市府也會全力配合，未來繼續深化交流開啟新的道路。

市長張善政在致詞時提到，這幾年來經濟部推的投資台灣計畫中，累積的金額桃園是全台灣第一，代表桃園市大家的首選，桃園除了機場外，若大家想設工業區的話，比起新北和新竹，桃園比較適合，不僅靠山也靠海，地勢平穩，另外在航空城第一期已經標出去，第二期也在加速啟動中，人才方面也相當充足，交通來往也方便，且持續改善中，這些種種因素都讓人逐漸增加。

張市長也說，從將來10年、20年以後，桃園會變得不一樣，能夠把公司搬到桃園，會是非常好決



張善政市長致詞

定，如果今天日總成員想到台灣投資設廠等，或跟日本合作，我們也很願意配合，台灣跟日本本來就很近，大家感情也非常很好，從日本回來後，如果有需要考察業務，市政府也全力配合。

錢妙玲總會長表示，很高興日總這次可以來拜訪桃園市，也很感謝張市長在百忙之中抽空來見我們，日總是聯合全日本的台商，這次的訪團都有六個地區會的成員參加，如果未來有需要合作的部分，也歡迎桃園市政府與大家合作，希望從這屆開始以後，可以每年都組團來交流，讓大家更加了解台灣現在發展什麼，面對面交流溝通。

致詞結束後，張善政市長也開放問答，讓日總訪團成員提問或提供意見，不少人都紛紛給予觀光方面的建議，也有人詢問投資相關的事宜，桃園市府也都將建議記下，並協助訪團成員解惑等，讓交流氣氛相當熱絡。

日總訪團拜會高雄市 陳其邁市長感謝台商促進台日關係友好



日總訪團與高雄市交流紀念合影

【高雄／採訪報導】日本台灣商會聯合總會返國致敬團3月13日最後一站來到高雄市政府拜會，市長陳其邁也帶領多位局處首長一同出席與日總訪團交流，陳其邁市長也特別感謝台商朋友促進台日關係的友好，交流結束後也特別設宴與日總訪團餐敘，以便雙方更進一步交流。

陳其邁市長在致詞時分享了許多與日本各界交流的經驗和看法，以及高雄與日本的緣分、日本遺留的歷史建築等，還有近年來多位日本政要造訪高雄、高雄市與日本姊妹市的交流等，讓日

總訪團聽了都紛紛覺得認識到很多，陳其邁市長也說，台灣和日本的關係良好，要感謝台商朋友的幫忙，尤其是日總歷代總會長和幹部、成員的努力，也代表市府歡迎大家造訪。

錢妙玲總會長表示，我在高雄有分公司，很常到高雄出差，每次造訪高雄時都能發現每年每年在改變，特別是產業發展或是科技園區、5G創新園區，都讓我感覺到高雄迅速成長，同時在陳市長帶領下，高雄市和日本的關係也越來越好，日總的理監事都是從商為主，希望以此次交流為契機建立穩定



陳其邁市長致詞



高雄市也與日總訪團餐敘交流的聯繫，讓大家更加了解高雄的現況和日總可以提供的幫助，一同促進高雄和日本的經貿交流。

在交流會後，高雄市政府也特別舉辦宴會與日總更進一步交流，雖然陳其邁市長因其他公務無法出席，但多位局處首長都到場與日總訪團交流，現場氣氛非常熱絡，不少在高雄出生的團員紛紛表示要全力支持高雄，促進高雄和日本的各領域的交流及友好關係。

81886.shop日台生活館厳選

美食を食べ尽くそう! 全日本をお届け!



通販サイト <https://81886.shop/>
お問い合わせ 03-5917-0048

01 冷凍

- 台湾灶咖 黒ごま担々麺 / 黒胡椒擔擔麵 **972円**
- 台湾灶咖 白ごま担々麺 / 白胡椒擔擔麵 **972円**
- 台湾灶咖 推茸香る鶏スープ / 香菇鶏湯(一人前) **580円**
- 台湾灶咖 漬けキュウリ鶏スープ / 花瓜鶏湯(一人前) **580円**
- 台湾客家香QQ肉圓 10個 / 台湾肉圓(バーフン) ソース付き **5000円**
- 台湾灶咖 胡椒薄餅 2個 **1000円**
- 台湾灶咖 燻製ダック / 煙燻烤鴨 1羽 **3500円**

- 台湾米血糕 豚血糕 / 豬血糕 **550円**
- 新宿台南担仔麵 砂鍋魚頭 (具材込み) **5000円**
- 新宿台南担仔麵 自家製のワンタン / 手工龍饅 (30入) **2640円**
- 新宿台南担仔麵 台湾肉圓(バーフン) ソース付 **2ヶ 1500円 / 10ヶ 6500円**
- 黒猪牌 台湾香腸200g / 台湾ソーセージ **756円**
- 泰山とうふ麺 500g / 豆腐干絲 **756円**
- 友盛カオヤーピン 850g(50枚) / 烤鴨用薄餅 **994円**

- 新宿台南担仔麵 ニウロウミェン 2個入 / 牛肉麵 **2700円**
- 新宿台南担仔麵 手作り水餃子30コ / 純手工水餃 **1944円**
- 新宿台南担仔麵 豚足のやわらか煮 / 魯豬腳 **800円**
- 新宿台南担仔麵 もつ入り菜脯スープ / 四神湯 **990円**
- 台湾小籠 新宿店 台湾チマキ / 台湾肉粽 **5ヶ 3000円 / 10ヶ 6000円**
- 台湾小籠 新宿店 台湾チマキ / 台湾肉粽 **6ヶ 3600円 / 12ヶ 7200円**
- 人造フカヒレ / 人工魚翅 **1620円**

- 台湾小籠 モツ入り菜脯スープ / 四神湯 **1080円**
- 台湾小籠 台湾もち米腸詰 2本 / 糯米腸 **1200円**
- 巧師傅 台湾ピーナツタンエン 200g(10入) / 台湾花生大湯圓 **486円**
- 巧師傅 台湾ゴマタンエン 200g(10入) / 台湾芝麻大湯圓 **486円**
- 全廣食品 押し豆腐380g / 百頁豆腐 **500円**
- 友盛 ポークミートボール 300g / 猪肉貢丸 **702円**
- 黒猪牌 台湾ソーセージ 500g / 10本入り **2080円**

- ベジタリアン用ハム / 素火腿 **1650円**
- 阿中 魚のすり身団子 / 魚丸(鱈Q丸) **900円**
- 阿中 しいたけ ポークミートボール / 香菇貢丸 **1100円**
- 阿中 lobster風味団子 / 龍蝦風味丸 **1000円**
- 阿中 イカステイック / 花枝羹 **960円**
- 阿中 冷凍魚卵入り魚団子 / 魚包蛋 **1080円**
- 阿中 ボークミートボール / 貢丸 大 / 小 **1000円**

- 揚げタロイモ 1kg / 冷凍炸芋頭 **1404円**
- 銀糸巻(ギンシマキ) 76g / 5本 / 銀絲卷 **702円**
- 台湾 大根もち (20個) 1000g / 蘿蔔糕 **1480円**
- 阿在伯 ツォンヨウピン 100g / 6枚 / 葱油餅 **780円**
- 馬師爺 ネギパンケーキ 100g / 5枚 / 蔥酥抓餅 **730円**
- ネギパイ 60g / 10枚 / 蛋餅皮 **702円**
- 台湾漁港イカ団子 / 花枝丸 **1000円**

07 常温

- 友盛 台湾ピータン 6入 / 松花皮蛋 **902円**
- 龍宏ハブシ 385g / 破布子 樹子粒 **864円**
- 黄金パイナップルケーキ 12個入 (送料無料) **3500円**
- 奇美マンゴーケーキ 10個入 (送料無料) **3500円**
- 台湾名産高級食材 / からすみ 160g (送料無料) **4860円**
- 台湾茶ギフトセット / 凍頂烏龍茶+東方美人茶 (送料無料) **7560円**
- 青葉 ピナツ&グルテンミート 120g (3入) / 土豆麵筋 **800円**

- 青葉 ルーローファン の具 150g(3入) / 魯肉飯料 **1080円**
- 虎牌ビーフ300g / 新竹米粉 **324円**
- 新順發業務用ビーフン 1kg / 新竹米粉 **891円**
- 統一 煮込み牛肉ラーメンオリジナル味 / 滿漢大饅牛肉麵珍味 3ヶセット 送料無料 **1620円 / 1ケース 6000円**
- 統一 煮込み牛肉ラーメンピリ辛味 / 滿漢大饅牛肉麵珍味 3ヶセット 送料無料 **1620円 / 1ケース 6000円**
- ビーナツ餅&黒、白胡麻油セット 1ケース30個入 (送料無料) **3300円**
- 九福 タマゴサチマ 227g / 雞蛋 沙琪瑪 (奶素) / 2袋から **378円**

- 開心齋 サチマ(プレーン味) 227g / 葡萄乾沙琪瑪 / 2袋から **378円**
- 東永 豚肉松 200g / 肉鬆 **1680円**
- 連一 マーラー鴨血 1.7kg / 麻辣鴨血 **2376円**
- 台湾 ピータン(発泡スチロール包装) 6入 / 松花皮蛋 **799円**
- 財神爺 台湾茹で塩卵 / 6入 / 塩蛋 **680円**
- 味全 台湾ピクルス(きゅうりの漬物) 400g / 珍珠花瓜 **490円**
- 赤ねぎ(大) 500g / 油蔥酥 **972円**
- 龍宏 味き付箱(袋タイプ) 600g / 辣油香脆筍 **840円**

- 牛頭牌 サーチャージャンパーベキューソース / 牛頭牌沙茶醬 250g **756円 / 737g 1480円**
- 金蘭 醤油膏(とろみ醤油) 550ml **1000円**
- 金蘭 醤油 590ml **900円**
- 愛之味 スイートチリソース 165g / 甜辣醬 **378円**
- 工研 台湾黒酢600ml **594円**
- 友盛 辣椒大王430g **540円**
- 老饕子 朝天んにく入り辛味調味料 / 蒜蓉朝天辣椒醬 105g **324円 / 240g 648円**
- 老饕子 朝天小魚の豆鼓入り調味料 240g / 豆鼓朝天小魚 **486円**

- 黒松 台湾コーラ 330ml / 沙士 1本 **180円 / 15ヶ 3960円**
- 大西洋 アップルソーダ330ml / 蘋果西打 1本 **250円 / 15ヶ 4800円**
- 泰山 ピーナツスープ 320g / 花生仁湯 1本 **300円 / 15ヶ 5760円**
- 泰山 ハ宝粥(ハッポウカウ) 375ml / ハ寶粥 1本 **210円 / 15ヶ 4320円**
- 黒松 グァバジュース 320ml / 芭樂汁 1本 **180円 / 15ヶ 3960円**
- 名屋 ハパイヤミルク 340ml / 木瓜牛乳 1本 **250円 / 15ヶ 4800円**
- 泰山 センソウミツジュース 330g / 仙草蜜 1本 **250円 / 15ヶ 4800円**
- 緑点 梅ジュース 460ml / 酸梅湯 1本 **250円 / 15ヶ 4800円**

81886.shop 日台生活館

【注意事項】
★注文形態冷凍 / 常温の製品出荷は梱包がそれぞれとなりますので、1形態毎に送料が別途かかりますのでご注意ください。
★製品によっては送料サービス品もありますので、1形態の合計金額から対象外となります。